

特定地域住民の購買・余暇活動について

(文京地区におけるメッシュ調査の分析)

長倉 康彦 原 坦
渡辺 昭彦 米村 茂範
齋藤 諭

目 次

はじめに	c 薬局	20
I 調査概要	d 買物行動	20
I-1 対象地区の選定と一般的状況	e 医院	20
a 人口密度分布	f 郵便局	20
b 家屋密度分布	g 理髪店	20
c 所得者分布	h 公衆浴場	20
d 産業別就業者構成	i タバコ店(自動販売機も含む)	20
e 商・工業施設分布	II-3 地域周辺行動による活動の広さ	25
f 学校・公園施設分布	II-4 居住地周辺における外出ルート(通勤・買物・通学)の選択について	28
g 交通体系	a 外出ルートの選択理由及び距離と道路状況	28
I-2 調査内容とその位置付け	b 外出ルートの徒歩時間	29
I-3 調査時期と調査票の回収	c 通勤, 買物における交通機関までの直線距離による地域の比較	29
I-4 調査地域居住者について	d 通勤, 買物における交通機関までの実距離による地域の比較	31
a 家族型	e 交通機関を利用した通勤, 買物行動の直線距離と実距離からみた地域の比較	32
b 家族構成員数	II-5 地域周辺行動と通勤, 買物行動との関連からみた地域の比較	32
c 世帯あたり有職者数	III 生活行動における余暇活動からみた地域の特性	36
d 職業別就労状況	III-1 余暇活動からみた地域の比較	36
e 職種別就労状況	III-2 活動内容別にみた地域の比較	36
f 年齢構成	III-3 活動型タイプからみた地域の比較	43
g 勤務者の勤務先規模	III-4 年齢階層別と活動内容	44
付図 調査地域の範囲	III-5 活動種目の年度による変化	50
II 地域周辺行動の地域的特性	III-6 活動頻度	51
II-1 地域周辺行動の状況		
a 地域周辺行動の有無		
b 地域周辺行動の程度		
II-2 地域周辺行動の場所までの距離及び分布		
a クリーニング店		
b 書籍, 文具店		

はじめに

地域施設計画に関する研究には、個々の施設の使われ

方をこまかに検討することによって、施設(空間)と利用者の生活・行動との関係を明らかにする手法が広く用いられているが、これと共に、建築計画の分野でも、住民側から各種の施設・機能に対応する研究も行われてお

り、その蓄積も増えてきている。

これらの地域施設に関する研究の対象は、従来、公共的関与の大きい施設が主であり、したがって、施設としては学校・幼稚園・保育所・医院・病院・老人憩いの家・図書館等か、又生活・行動の把握も、教育・福祉・医療等の分野を中心に研究が行われることが多かった。

当然ではあるが、地域における住生活を好ましい状態に保つためには、購買・レジャー等、主に民間にその設置が委ねられることの多い施設・機能についても、充分整備されることが必要であり、そのための計画論をさらに検討充実させてゆく必要があることはいうまでもない。

今回われわれが行なった調査の目的は、これらの地域施設の計画を行うための一助にすべく、一定地域を対象に、それらの生活・行動を追跡検討することにあったが、それと共に、メッシュ法を用いて、これらのニードを空間的にとりあつかう手法を検討しようとした。

調査対象としては、住宅地および中小企業の商住混合地をもつ文京区をえらび、徒歩圏として考えられる500mの区域にメッシュをかけて対象者を抽出し、日常的な購買等にかかわる主な生活行動と、その施設利用分布を調査し、又成人の余暇活動を、その行動と場所について調査した。そして、対象地区についての地域性をしめすと考えられる属性を検討し、これらの結果と、上記生活行動のパターンとを対応させて分析する。

結果は、3つの章に分けて報告するが、第1章には、調査概要として、対象地区の特性をのべ、つづいて第2章には、購買の日常的行動の状況、施設利用分布とそのスケール、外出ルートとそれらの関係などを中心に分析した結果をまとめ、第3章では、余暇活動の行動パターン、活動内容・頻度・種目、施設利用状況の調査結果をまとめた。

I 調査概要

I-1 対象地区の選定と一般的状況

文京区が他の地域にくらべ、どのような位置にあるかについては、その概略を前述したが、ここでは先ず文京区の中にどのような特色をもった地域があり、調査対象の地域がどのような地域として位置付けられるかを述べてみたい。地域の特色を把握するために、今回は①人口密度、②家屋密度、③所得、④産業別就業者構成、⑤商業施設分布、⑥学校・公園施設分布、⑦交通体系等の観点から地域的に考察していった。以下それぞれについて述べてみたいと思う。

① 人口密度分布

昭和43年1月現在、東京都23区の中で、21,090人と第8位となっている。そして文京区の町・丁目別の人口密度についてもその地域的較差が極めて大きく、昭和43年1月1日現在、後楽1丁目(975人)が最低を、根津2丁目(49,900人)が最高を示している。この傾向は新住居表示制度実施後「町」の広域化とともに「町・丁目別人口密度」も平均化する傾向を示すに致したが、一般に文京区においてはその人口密度は本郷地区が大きく、小石川地区が小さいという傾向がある。そしてなおこの傾向は昭和35年と昭和43年とを比較しても、さして大きな変化はない状態である。

② 家屋密度分布

家屋密度分布をみると、文京区においては著しい地域差のあることがわかる。文京区の西側に位置する旧小石川地区よりも早く都市形成がなされた東側の旧本郷地区の方が家屋密度は高い。特に藍染川流域にある千駄木地区は家屋の密集度が高く、商業、工業、住宅などの諸機能が混在した状態になっている。旧小石川地区は大塚5丁目、小石川1丁目等を除けば家屋密集度は低く、旧本郷地区よりも住宅地、文教地的性格が強い。とくに南部の小日向、関口、目白台地区は理想的な居住環境をもつ地域であると言える。なお旧本郷地区には北部に寺院地区があり、南部には東京でも代表的な住宅地として西片地区がある。ここは根津2丁目周辺と対称的であり、ゆったりした家屋配置と家屋単位が大きいことが特色である。

③ 所得者分布

文京区内の経済的地域格差を所得額によってみると、区内における年収200万円以上(昭和38年)の高額所得者数*は23区のうち第12位であるが、その地域的分布をみると、西片、大塚2、3丁目などの住宅街に比較的密集していると言える。

*年収200万円以上の所得者で、昭和37年1月～12月迄の総所得額を、昭和38年3月に確定した者の数。従って、源泉徴収を受けている給与所得者は含まれていないが、その他の所得、配当所得、不動産所得等が、年間5万円以上あり申告をした者は含まれる。

④ 産業別就業者構成

文京区でとくにめだった産業は、印刷、製本業とこれに関連した諸産業や、医療器械の製造販売業とである。これらの産業は全国的に有名なものである一方、東京大学付近の旅館へは全国から修学旅行団が来泊し、また新古書店街としても知られている。ちなみに建設業、製造業を中心とした第2次産業就業者を町・丁目別にみる

と、小石川地区の「印刷・製本のまち」に圧倒的に集中している。また産業別就業者の人口比率（国勢調査昭和40年度）をみると、就業者比率の高い地区は小石川、白山を中心とした工業地区で、零細、中小企業の多い出版印刷業の集中地区とも一致する。そしてその地域は江戸川低地帯の西部から音羽方面に伸びている。一方商業に関しては、湯島を中心に高い就業者比率を占めてるが、局所的な状況であり、小石川地区では低い。住宅地の性格の強い地区としては、本郷、向山、西片、小日向の各地があげられる。

⑤ 商・工業施設分布

先ず商店街の分布をみると、商店街は谷間部に形成されている場合が多く、区内の東部、南部に集中している。根津から上富士町にかけての商店街は、下町的な情緒の深い通りと言えよう。一方住宅地に発生した商店街は日常生活品を中心とした山の手台地にみられる商店街の雰囲気と類似している。図1-(1)-① 次に文京区内に分布する商店街の地域格差をみるために、商店街に含まれる業種構成に占める買回り品店の比率をもとに、それぞれの商店街にA、B、Cとランク付けしてみると、文京区内の住宅地域を背景とした各地域ごとの商店街はC

クラスのものといえよう。図1-(2)-②

次に工業施設について文京区の状況を業種別にかつ地域的にみることにする。文京区の工業は都市的工業である出版印刷、医療用・理化学用器材、彫刻関係、外衣などの縫製を中心とした中小・零細工業の巨大な集団に特色があることは前述したが、それらの集団群が地域的にどのように分布しているかを若干述べてみたい。第1に「出版印刷業」は文京区全域に分布しているが、中でもその核心は関口1丁目、白山1、2、3丁目と小石川全域、後楽2丁目の3地区にあり、これらの地区では他に関連ある業種が総合的に発達している。そして特に白山2丁目、小石川3丁目を中心とする地域に集中していると言える。これらのほか、出版関係では本郷地区に集中している。第2として「医療用、理化学用機器製造業」は本郷2、3丁目及び湯島2丁目を核心として局部的集中を示している。この地区は金属製彫刻、家具にも関連をもっており特色ある地域を形成している。また全国的にでもこの地区は工場の集中している地域と考えられている。第3として「外衣縫製業」が考えられるが、これは文京区でも人口の集中した千駄木、根津を中心として、本駒込の東南部、向ヶ丘、本郷までのびている。これは間屋の下請加工の形態をとるために、間屋の集中す

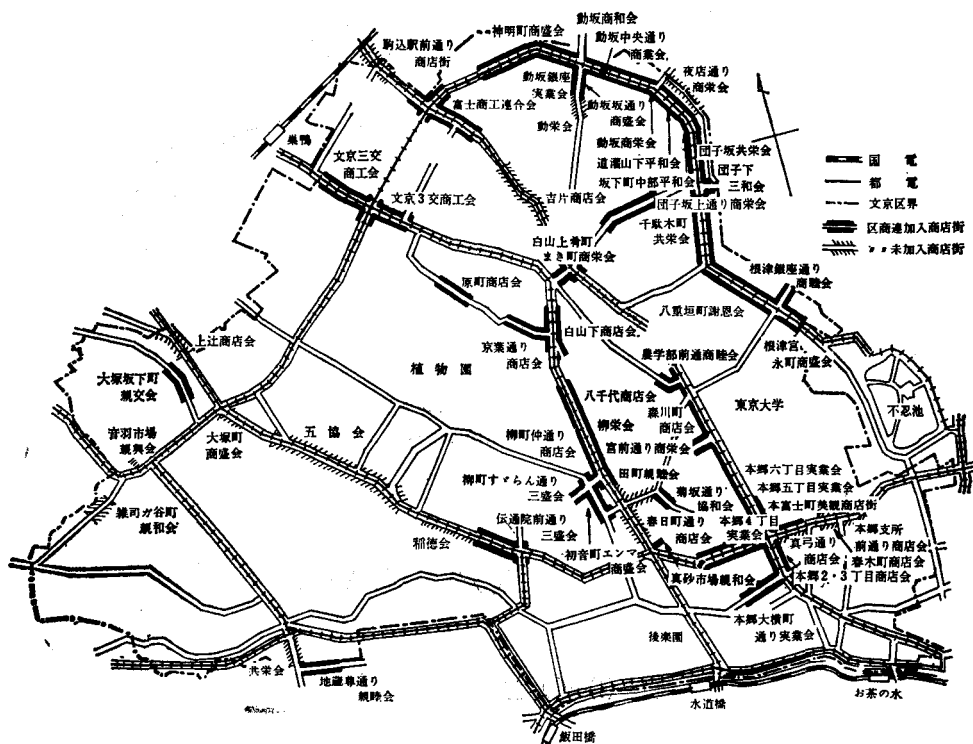


図1-(1)-① 東京都文京区商店街配置図 赤羽幸雄「商店立地の知識」による

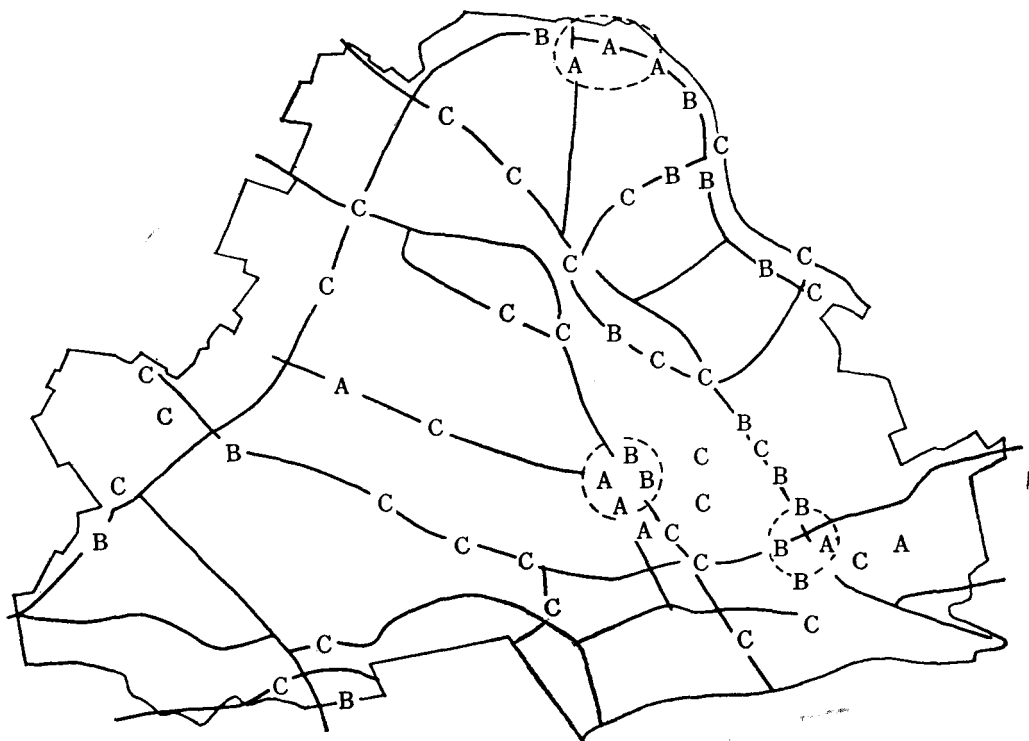


図1-(1)-② 文京区の主要商店街の業種構成
A：買廻り品店が30%以上、B20～29%、C19%以下

る台東区に近い地域に集中している。第4として「彫刻、装身具関連業」は千駄木を中心としており、前述の外衣縫製を含めて家内工業的色彩の強い地域と言える。

④ 学校・公園施設分布

文京区内における学校施設の分布はほぼ全域にわたっておりその数も比較的多い。とくに東南部の後楽、春日、湯島地区、大塚地区、本郷地区などに多い。

次に公園、緑地の分布をみると、区内に平均して分布しており、それぞれが広々とした感じを与えている。(図中において算用数字は公園、アルファベットは児童遊園を示している。) 図1-(1)-③

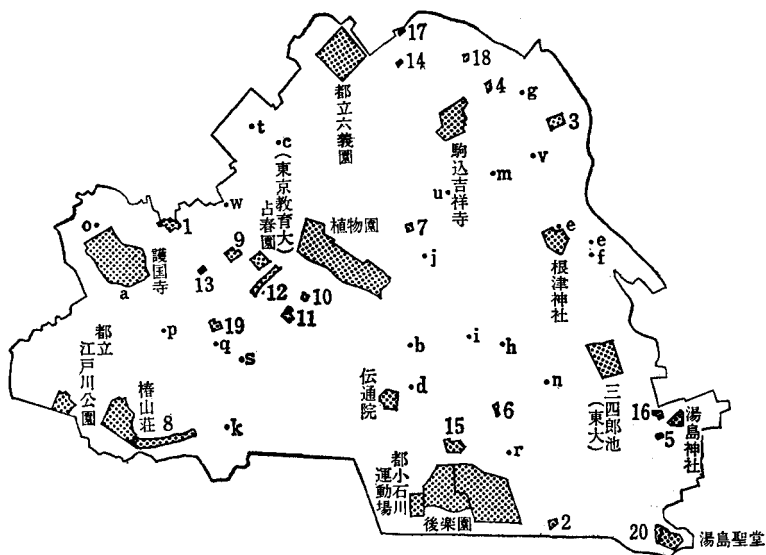


図1-(1)-③ 緑地・公園・遊園地の分布図

参考として文京区内における貸ビルの設置件数を昭和35年の状況と比較すると、当時の10倍以上の件数に達している。貸ビル件数が著しく伸びた

地域としては千代田・台東両区の業務管理地区に隣接した本郷付近、地下鉄丸の内線に沿った春日通り一帯の地

域があげられる。

⑤ 交通体系

文京区における交通網を一見すると、まず気付くのは代表的な大量交通機関である国電が区域に存在しないことである。他に練馬、世田谷の2区が同様の状況にあるが、東京都区部では特異な存在であると言える。したがって文京区においては、国電は中心的交通機関ではなく、住民の大部分は交通手段として、国電を利用するとしても、地下鉄・バス等を第一義的に利用していると考えられる。ちなみに国鉄・地下鉄の利用状況を見ると、都心に近いお茶の水、水道橋、飯田橋、御徒町、上野の各駅での乗降客数は多く、都心より遠い駒込、巣鴨、大塚でのそれは少ない。とくに御茶の水、上野の両駅では極めて多い。一方バス交通に関しては区内で系統が運行されているが、御茶の水から本郷4丁目をとおり東大農学部までの路線と江戸川橋から音羽1丁目までの路線及び白山通りの小石川1丁目から白山上までの路線とに集中してお

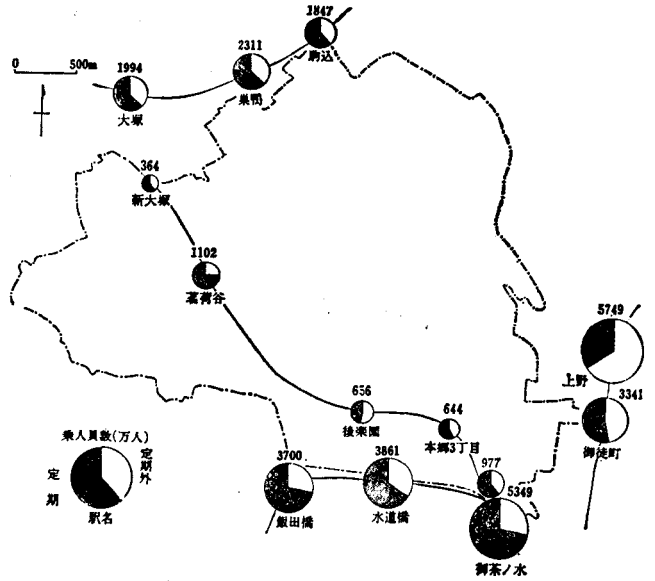


図1-(1)-④ 国電・地下鉄の年間乗車人員(昭和40年都市交通年報より)

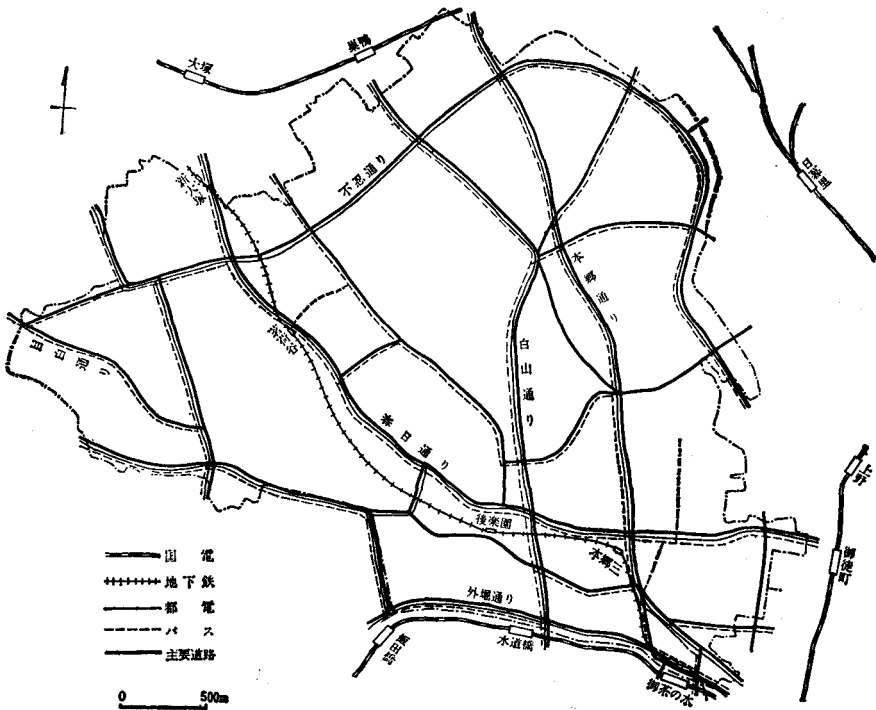


図1-(1)-⑤ 文京区の交通網

り、交通の利便性に地域的なかたよりがみられる。図1-(1)-④、図1-(1)-⑤)

以上文京区の状況を幾つかの観点から地域別に見たわけであるが、これらを基礎に文京区の特徴を幾つか箇条的に述べてみよう。

④ 家屋密集（人口高密度）地域

……根津2丁目、千駄木4丁目

⑤ 高級住宅地域（高額所得者居住、家屋密度の低い地域）

……西片、大塚2丁目、（本郷）

* 住宅地としてはほかに、本郷、向山、小日向地区があげられる。

⑥ 業務地域（貸ビル建設の進んでいる地区）

……本郷、春日通沿線地区（湯島等）

⑦ 出版印刷業の集中地域

……関口1丁目、白山1、2、3丁目、小石川全域、後楽2丁目

* 特に集中している地域は白山2丁目、小石川3丁目であり、共同印刷、講談社、凸版印刷の3大工場、企業を中心とした零細製本業者が集中している。

⑧ 医療、理化学用機器業の集中地域

……本郷2、3丁目、湯島2丁目

* この地域は金属製彫刻、家具にも関連をもって作り、特色ある地域である。

* 全国的にも工場の多い地域である。

⑨ 外衣縫製、装身具、彫刻関連業の集中地域

……千駄木、根津、本駒込の東南部。

* 豊かな労働者をもった地域であり、零細規模の家庭工業的色彩に特色がある。

以上のように文京区の特徴を地域を対応させながらみたわけであるが、これらの中で今回は小石川地区（小石川1、3丁目、白山2丁目）と本郷地区（本郷2、3丁目、湯島2丁目）とを調査対象地区として選定し、その周辺地域に関する調査を行なった。次にこの調査対象地区に関して簡単にその概要を述べることにしたい。

(1) 小石川地区

人口密度は1平方キロメートルあたり2～4万人に達する地域で文京区の平均よりも上廻っており、小石川2丁目は文京区内ではかなり密集した地域である。また所得水準は左程高くない。地域の業種構成には特色があり、出版印刷業が、共同印刷、講談社、凸版印刷の3大工場を中心として全国的にも重要な位置を占めており、零細製本業者の集中地域となっている。商店街も柳町すざらん通り、伝通院通りと付近にあり、かなり便利であると考えられる。また駅あるいは他区への交通機関はバス利用が最も近い。

(2) 本郷地区

人口密度は、小石川地区よりも1ランク低く、1平方キロメートルあたり1～3万人程度の地域で文京区の平均的地域として考えられる。家屋密度は本郷2丁目が多少高くなっているが、それ程目立った地域ではない。ただ小石川地区にくらべ、高額所得者が全域的にみられることは大きな特色である。また地域の業種構成をみると本郷2、3丁目が医療・理化学用機器業の集中している地域であり、全国的にみても工場数の多い地域として知られている。そしてさらに湯島2丁目を中心に業務（商業）地域としても特色ある地域と考えられる。商店街への便利さは小石川地区程ではなく、地下鉄・本郷3丁目周辺にのみ集中しており、調査地区内には目立った商店街はほとんどみられない。また通勤等外出のための交通機関は小石川地区よりも便利で、地下鉄・国電、さらにはバスの選択もかなり自由であると考えられる。

I-2 調査内容とその位置付け

今回の調査は前項でも述べたように、地域居住者が居住している自宅周辺地域内で如何に行動しているかを分析する中から、それぞれの地域のもっている特性を把握していこうとするのが第1の目的で、その試行的段階であるとする。つまり地域居住者の生活行動とその行動する地域との特性をコネクトするものがあるのか、あるとすればそれは何なのかという疑問を素直に持ち出したのが今回の調査であると考えている。

このような観点から以下に報告する順に従ってそれぞれの調査内容とそれのもつ意味について簡単に述べてみたいと思う。

(a) 先ず調査の対象となる地域居住者がどのような性格を持っているのかを、属する世帯の家族型、家族構成員数、さらに各個人の年令、性別、職業等から位置付け、これらと前項で述べた調査対象地区の特性とを対応させながら母集団を位置付けていく。

(b) 次にそれら特性をもった地域に居住する母集団が日常の生活の中でどのようなことをどの程度やっているのか、つまり地域周辺行動の状況について全般的に把握することが必要である。すべてに渡って言えることだが、単に行動状況をとらえるのではなく、属する地域の特性がどのように影響を与えているかを考察し地域比較を行なうことを目的としていることを明記しておきたい。したがって今回調査したのは2地域であるが、それぞれの地域で何故そうなっているのかというつきつめ方をしている。

(c) (b)に属する内容であるが、それら地域周辺行動をフィジカルにとらえるために、その尺度に各住戸と行

動場所までの距離を用い、地域内において、如何なる理由で施設を選択し、利用しているのかを地域の性格を検討することで分析してみた。

(d) 次に地域居住者が周辺地域ではどの程度の広がりを持って行動しているかを利用施設を地図上にプロットすることで検討した。次に地域居住者が周辺地域でどの程度の広がりを持って行動しているかを利用施設を地図上にプロットすることで検討した。行動範囲の面積比較、形の比較等がここでの試みであるが、従来、施設を中心とした利用圏域の研究等との対応で考えて行けたらと考えている。

(e) 次に居住地周辺における外出ルートについて検討を加えた。詳しい分析方法は後述することになるが、ここではその概略を述べることにする。外出ルートとしては通勤、通学、買物等が考えられるが、周辺地域内を実際に歩く状況をとらえ、その状況を歩行距離、周辺地域の道路状況、交通機関等から分析することによって外出ルート（選択ルートと言ってもよい）はどのような状況におかれるのかを比較検討したのである。

(f) ここでは(d)、(e)を対応させ、地域周辺行動と外出ルートがどのような関連をもつのかについて比較検討したのである。ここでは例えば通勤ルートと地域周辺行動とがなんらかの関連をもっているのかというような疑問に答えるものと考えている。

(f) 最後に今までは周辺地域に密着してそこに派生する行為について検討を加えようとしてきたのであるが、一方周辺地域から離れて、あるいは周辺地域内で余暇活動として考えられるものを抽出、選別し、それらから一般的傾向、階層別傾向、活動頻度をはじめ、活動タイプのパターン化等を2地区比較する中で、地域的な傾向がどの様にあらわれてきているかを検討したのである。

以上が今回の概略であるが以下調査概要を述べ調査結果を順を追って報告していく。

I－3 調査時期と調査票の回収

今回の調査は昭和45年8月に行ないほぼ1ヶ月を要している。

また調査票の回収は大学院生相当の人と共に、1軒の家に2、3度行くことは普通であった。今回の調査地域に描いたメッシュの交点は、小石川地区16×18＝288、本郷地区16×16＝256あるが、学校、道路、寺、神社等の地区特性を考慮すると、実際に調査できる世帯の居住している交点の数は、小石川地区175、本郷地区194という状況である。

調査はこれらの交点に該当する世帯の家族構成員に行ない、その回収世帯数を示すと、表1－(3)－①に示す如く、小石川地区113世帯、本郷地区63世帯である。以下回収世帯の家族構成について表1－(3)－②に示しておく。本郷地区において回収率が極端に低いのは、調査予定箇所に地域居住者がおらず、地区外居住者が多かったためであり、前述の地区特性からみてもいたしかたない状況である。

表1－(3)－① 世帯調査の回収状況

	小石川地区	本郷地区
調査地区 メッシュ交点数	288 (16×18)	256 (16×16)
調査地区 調査可能交点数	175 (60.8%)	194 (75.8%)
調査回収世帯数	113 (64.0%)	63世帯 (32.5%)

表1－(3)－② 調査回答者の職種別構成

	勤労者 (主婦 で勤労 者は除 く)	主婦 で勤労 者	主婦	無職	就学者	幼児	合計
全部回答	71 (59.2)	1 (0.8)	40 (33.3)	6 (5.0)	2 (1.7)	— (—)	120 (100.0)
一部回答	89 (32.6)	23 (8.4)	32 (11.7)	19 (7.0)	106 (38.8)	18 (6.5)	273 (100.0)
回答者数	160 (39.3)	24 (5.9)	72 (17.7)	25 (6.1)	108 (26.6)	18 (4.4)	407 (100.0)

(小石川地区)

	勤労者 (主婦 で勤労 者は除 く)	主婦 で勤労 者	主婦	無職	就学者	幼児	合計
全部回答	39 (39.0)	1 (1.0)	22 (22.0)	9 (9.0)	29 (29.0)	— (—)	100 (100.0)
一部回答	36 (37.6)	9 (9.5)	19 (19.5)	7 (7.2)	22 (22.7)	3 (3.1)	96 (100.0)
回答者数	75 (39.3)	10 (5.2)	41 (21.5)	16 (8.4)	51 (26.7)	3 (1.6)	196 (100.0)

(本郷地区)

I－4 調査地域居住者について

ここでは調査回収によって得られた世帯（家族）について、その位置付けをすべく家族型、家族人数、職業構成等について以下簡単に述べてみることにする。

(a) 家族型

家族型については、表1—(4)—①に示したが、C′、あるいはC、つまり「夫婦に子供のいる世帯」あるいは「子供のいない世帯」がほとんどで、小石川地区ではC′及びCで69%を占め、本郷地区はC′及びCで44%、さらに単身者による世帯が18%という状況である。また参考に調査地域にメッシュをかけ世帯別に家族型を示した。図1—(4)—①、図1—(4)—②以下同様に表現していた。(無印は、回答者の位置である。)

(b) 家族構成員数

家族構成員数を表1—(4)—②に示したが、小石川地区の方が世帯あたりの家族構成員数は多く4.18人/世帯、本郷地区は3.35人/世帯であった。(図1—(4)—③、図1—(4)—④) 小石川地区は全国平均を上廻った構成員数を示している。

(c) 世帯あたり有職者数

世帯あたり有職者数は表1—4—③のようになるが、平均すると小石川地区1.31人世帯、本郷地区1.36人/世帯となる。また女子についてみるとほとんどが、居住したとしても世帯あたり1人である。(図1—(4)—⑤、図1—(4)—⑥)

なお女子の勤労者が居住する世帯は全住戸に対して、小石川地区46世帯(40.7%)、本郷地区19世帯(30.2%)となっている。本郷3丁目は湯島3丁目と同様女子の「住み込み」の多い所であるが、調査回収の状況からはその傾向が表われていない。(図1—(4)—⑦、図1—(4)—⑧)

(d) 職業別就労状況

職業別就労状況を図1—(4)—⑨～⑫に示したが、それによると、小石川地区ではサービス関連の業務に就労している比率が40%弱、次いで生産加工関連業にたずさわっている比率は20%とこれも印刷製本業に従事している人の集中している小石川地区らしい分布をしている。一方本郷地区では加工、販売、サービス業務に従事している人はそれぞれ16.7%、13.1%、14.3%となっている。本郷周辺は医療機器等の製造業及び業務地域として発達しており、ほぼ代表していると言える。

(e) 職種別就労状況

職種別に就労状況をみると、小石川地区は圧倒的に会社員が多く、中でも技術的職業に従事する人が多い。これは印刷、出版、製本等の技術的な部門に従事している為と考えられる。一方本郷地区は会社員のうちでも管理的、事務的なものにかたよっており、小石川地区よりは一般的な構成をしていると言える。また自営業も10世帯

近く居住している。(図1—(4)—⑬、図1—(4)—⑭)

さらに就学者について述べると、世帯あたり就学者数は、小石川地区55世帯(40.7%)、本郷地区32世帯(50.8%)となっている。年令別にみると、小石川地区は、小中学生の方が少く、本郷地区は小中学生の方が多くなっている。男女比をみると、文京区全体で男子が57%を占めており、ほぼ似た状況を示している。(表1—(4)—④、図1—(4)—⑮、図1—(4)—⑯)

同様に無職者の状況をみると、小石川地区6.1%、本郷地区8.1%とほぼ4～4.5世帯に1人の割合で居住している。(図1—(4)—⑰、図1—(4)—⑱)

(f) 年令構成

文京区全体の構成分布図を図1—(4)—⑲に示したが、小石川地区に比較的分布が似ていると言える。なお本郷地区の場合、回収率が低いことも作用して確かな事は言い難い。

(g) 勤労者の勤務先規模

表1—(4)—⑤地区別に示したが、小石川地区は比較的大規模な企業に勤めている人が多いが、3人以下の企業も存在し、多様な構成となっている。これは出版・製本等下請的企業も多く、その場合3人以下で経営しているものと考えられる。一方本郷地区は第2項で述べたように高額所得者が比較的居住していることから裏付けられるが、大企業へ勤めている人も小石川地区と同様多く居住する。一方、3人以下の小企業へ勤めている人も多く、注目すべきと考える。多分これは医療機器等の下請け企業で構成されているためであろう。

最後に調査地区の位置とアンケートの対象となった地域を図1—(4)—⑳、図1—(4)—㉑に示しておく。

表1—(4)—① 家族型

家 族 型		小石川地区		本郷地区	
		人	(%)	人	(%)
夫婦のみの世帯	C	9	7.9	6	9.5
夫婦に子供のいる世帯(2世代家族)	C′	68	60.1	25	39.7
片親に子供のいる世帯	S′	11	9.7	7	11.1
単身者	S	4	3.5	12	19.1
	C′—C′	5	4.4	—	—
	C—C′	4	3.5	2	3.2
	S—C′	—	—	5	7.9
その他		12	10.6	6	9.5
合計		113	100.0	63	100.0

表1-(4)-② 家族構成員数(人) (単位%)

家族構成員数(人)	1	2	3	4	5	6	7	8	合計
小石川地区	4	15	29	33	15	11	4	2	人113
	3.5	13.3	25.7	29.2	13.3	9.7	3.5	1.8	%100.0
本郷地区	11	13	7	16	11	2	2	1	人63
	17.5	20.6	11.1	25.4	17.5	3.2	3.2	1.6	%100.0

表1-(4)-④ 就学者構成比率

性別		就学別				
		幼稚園	小学生	中学生	高校生	学生
小石川地区	男子	%7.6	%10.5	%10.5	%11.4	%12.4
	女子	6.7	11.4	8.6	14.3	9.7
本郷地区	男子	5.5	16.4	14.5	12.7	10.9
	女子	1.8	10.9	12.7	9.1	5.5

表1-(4)-③ 世帯当り有職者数

世帯当り有職者数	0	1	2	3	4	5	6	7	合計
小石川地区	3	54	36	15	4	0	1	0	人113
	2.7	47.8	31.9	13.3	3.5	0	0	0.9	%100.0
本郷地区	7	37	14	4	0	0	0	1	人63
	11.1	58.7	22.2	6.4	0	0	0	1.6	%100.0

表1-(4)-⑤ 勤労者の勤務先規模

性別		勤務先規模				
		3人以下	4～9人	10～29人	30～299人	300人以上
小石川地区	男子	%13.4	%5.7	%10.7	%18.6	%26.4
	女子	2.1	2.9	4.3	4.3	11.4
本郷地区	男子	25.0	8.9	7.1	26.8	10.7
	女子	5.4	7.1	1.8	5.4	1.8

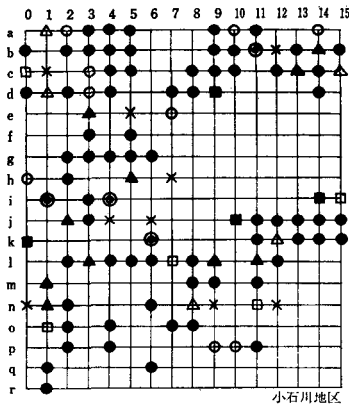


図1-(4)-① 家族型

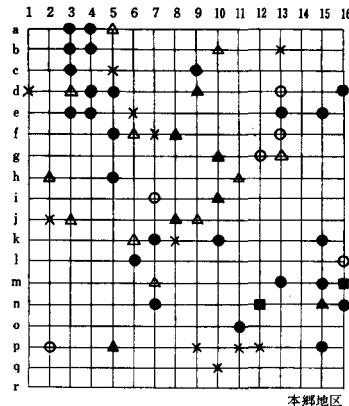


図1-(4)-② 家族型

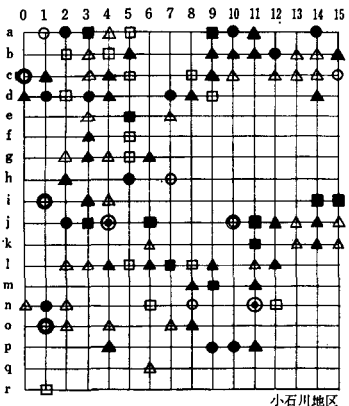


図1-(4)-③ 家族構成員数

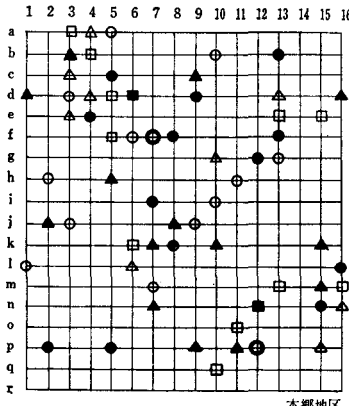


図1-(4)-④ 家族構成員数

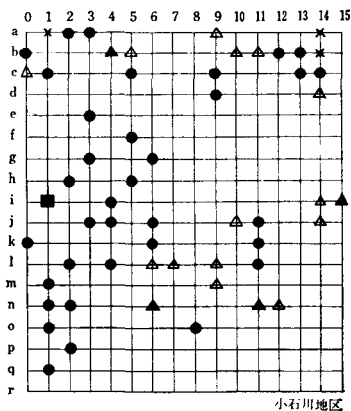


図-1-(4)-⑤ 世帯当り有職者数

有職者数	
○	1人
●	2
△	3
▲	4
□	5
■	6
⊕	7
×	不明

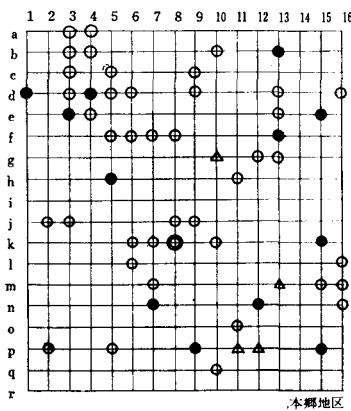


図-1-(4)-⑥ 世帯当り有職者数

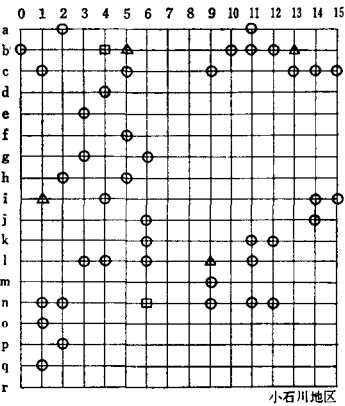


図-1-(4)-⑦ 世帯当り女性有職者数

女子有職者数	
○	1人
△	2
□	3

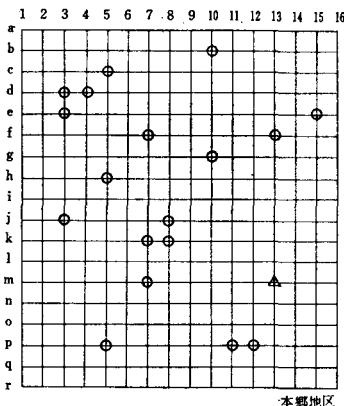


図-1-(4)-⑧ 世帯当り女性有職者数

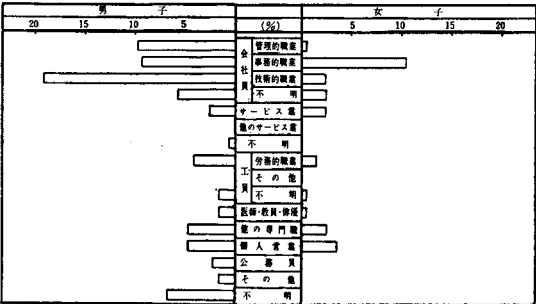


図 1-(4)-⑨

<小石川地区>

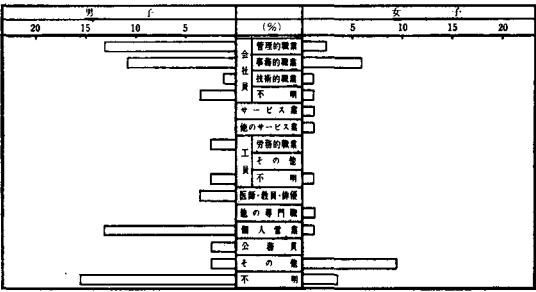


図 1-(4)-⑩

<本郷地区>

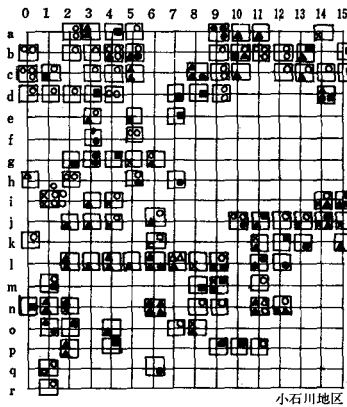


図-1-(4)-⑪ 職業別就労状況

職種	
○	生産・加工
●	販売
△	修理
▲	サービス
□	公務・専門職
■	その他
×	不明

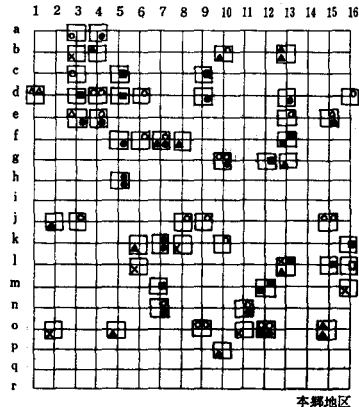


図-1-(4)-⑫ 職業別就労状況

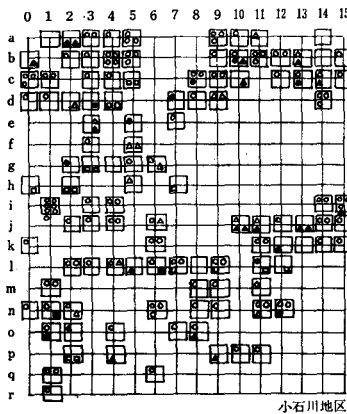


図-1-(4)-⑬ 職種別就労状況

就労状況	
○	会社員
●	店員
△	工員
▲	専門職
□	自営業
■	その他

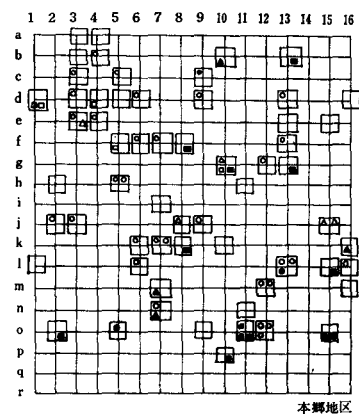


図-1-(4)-⑭ 職種別就労状況

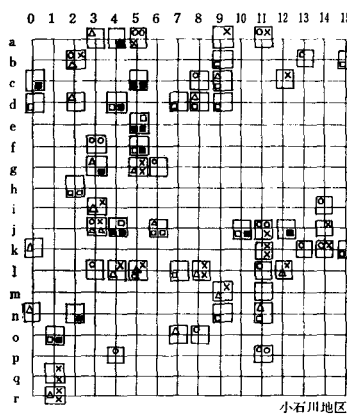


図-1-(4)-⑮ 就学者構成

就学者構成	
■	幼児
□	小学生
△	中学生
×	高校生
○	大学生

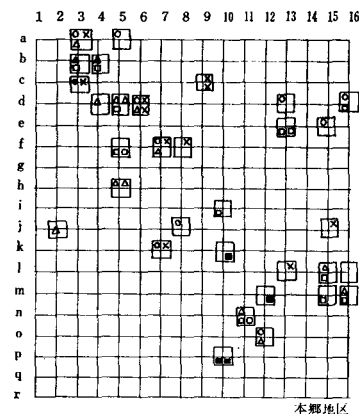


図-1-(4)-⑯ 就学者状況

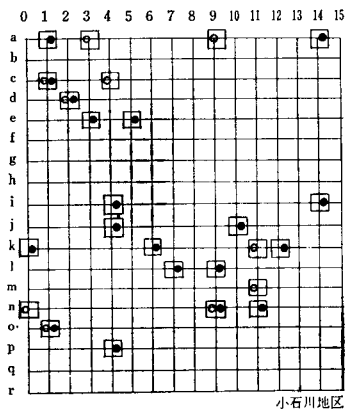


図-1-(4)-⑰ 無職者の男女別構成

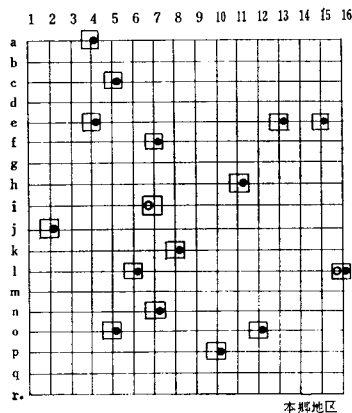


図-1-(4)-⑱ 無職者の男女別構成

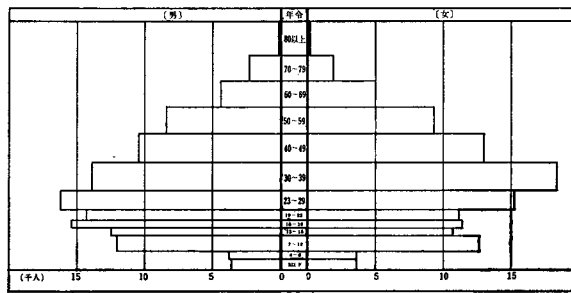
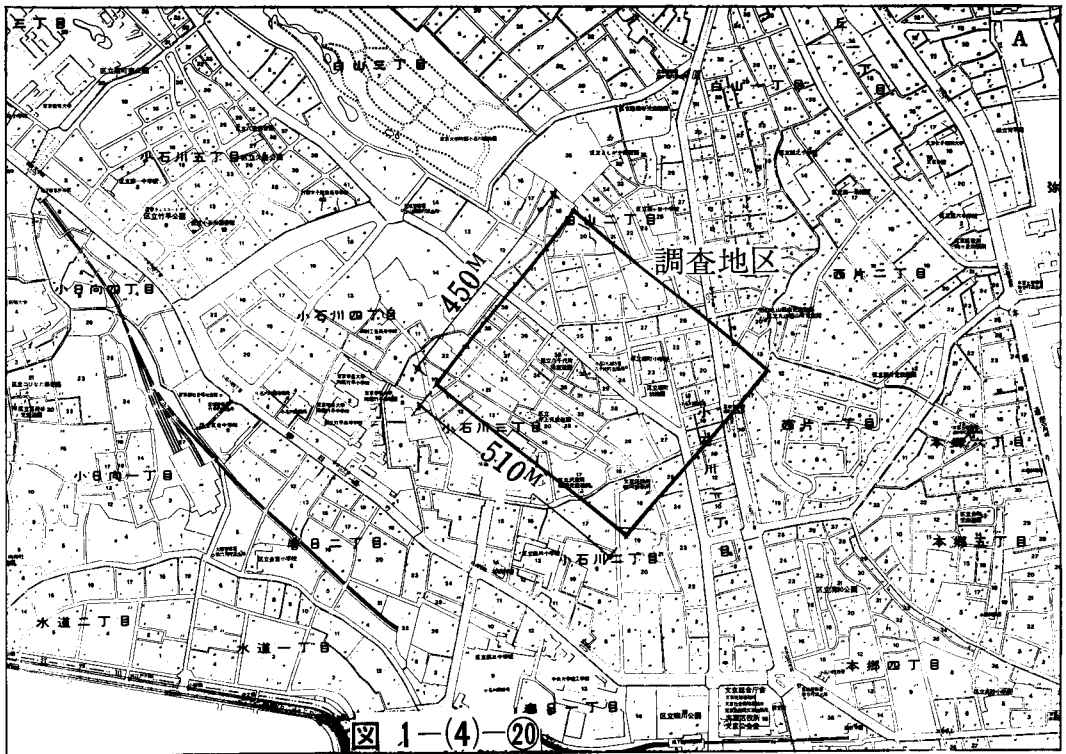
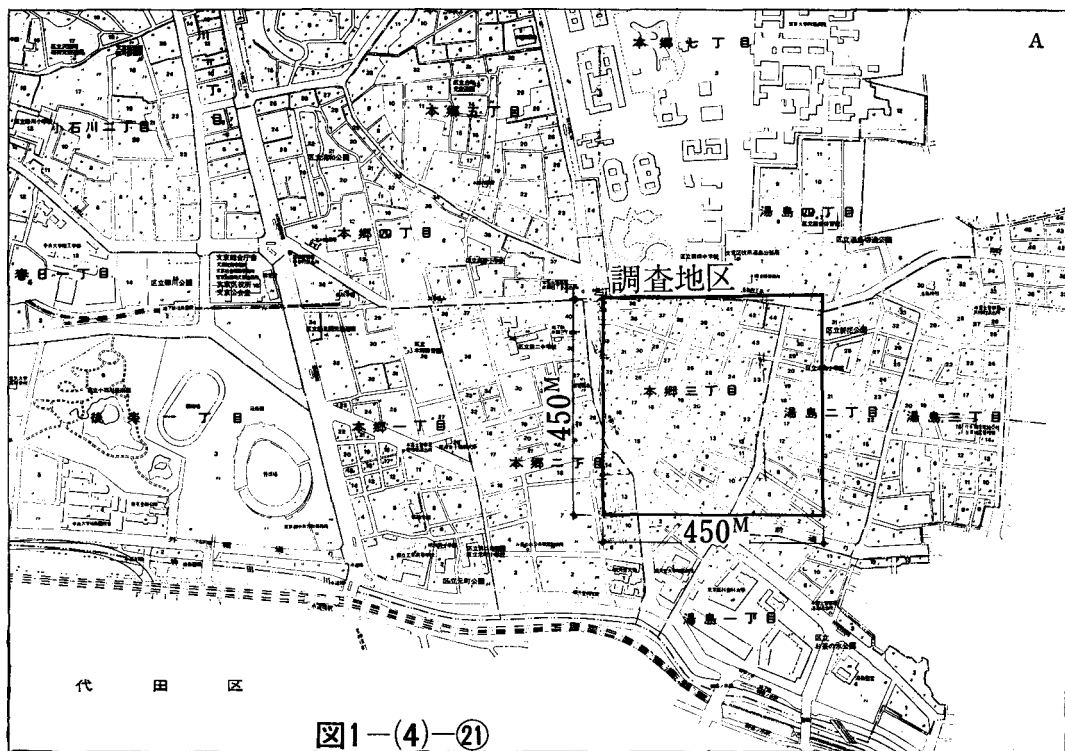


図 1-(4)-⑲ 文京区の年齢構成 (昭和43年4月1日現在: 文京区調べ)





Ⅱ 地域周辺行動の地域的特性

地域によって諸々の状況おにかれてい生活関連施設に関して、周辺地域に居住する住民がどのようにこれを利用しているかという観点から、施設のおかれた地域の性格を明確にしていくことは前節で述べたが、この節では調査対象の2地区の中から、①クリーニング店、②書籍文具店、③薬局、④日用品を扱う商店（商店街）、⑤医院（診療所等）、⑥郵便局（郵便ポストも含む）、⑦理髪店、⑧公衆浴場、⑨タバコ販売店（自動販売機も含む）の9施設に関連する行動と、施設としては特別明記しなかったが、⑩として散歩行動とを含めて10の生活行動に関して調査した結果を示したい。先ず第1にこれらの行為がそれぞれの地域の状況を加味した状態でどの程度行なわれているのかということについて考察を加え、さらにそれらの施設までの利用距離等に関連して若干の考察を加えることとする。参考までに調査地区、小石川、本郷の地区におけるの施設についてその分布状況を図2—(2)—①—④～図2—(2)—⑨—⑩に示した。

Ⅱ-1 地域周辺行動の状況

(a) 地域周辺行動の有無

先ず諸々の生活行動を、階層別に勤労者、就学者、無職者と大別しそれぞれ比較考察を加えた。（表—2—(1)）
① 2地区を比較した場合、概して勤労者階層においては小石川地区の方が外出する機会が少ない。これは回答数の多少によることも考えられるが、他に考えられることは、小石川地区の場合、調査地区内に該当する施設が少ないこと、さらには、小石川地区は出版製本業を営むケースが多く、かつ零細・中小企業であるため、自由になる時間の少ないことにも原因していると思われる。その反面、単身者の傾向を比較すると、薬局、買物、郵便、タバコに関連する行為は小石川地区の方が多くみられる。このことは無職者（主婦を含めている）をみると、やはり小石川地区の方が出かける機会は少ないということから子供が親に変わって使いに出る機会が多いことを示しているのではないかと考えられる。

次にそれでは勤労者についてもう少し詳しく考察してみたいと思う。勤労者を男子と女子とに分けてみたのが

表一2—(1)―②である。それによると、男子においては前述のように小石川地区における外出状況は極めて低くあらわれている。一方婦女子においては、理髪店、公衆浴場、タバコに関連する行為に関して小石川地区に多くみられる。がこれらの行為はある意味で個人の、あるいは家族の嗜好によるところが強く、自分の住戸に浴室を設けてあれば、公衆浴場を利用する機会は激減することも考えられるだろう。ただ先程の勤労者全体のところでも同じことが言えるが、本郷地区には文京区の中でも比較的所得の高い家族が集中していることもこの調査結果の一因となっていると考えられる。勤労者を男子、女子とに分類したが、女子の場合若干の違いがみられたこともあり、次には女子勤労者を家庭の中で主婦として生活している者とそうでない者とに分けてみた。その内容が表一2—(1)―③である。それによると前述した女子勤労者のうち小石川地区において外出の機会が多く現われた原因の一つとしては、小石川地区の主婦で勤めている者が比較的外出していることによると考えられる。

ちなみに主婦で勤めている者のうち小石川地区で多く

行なっている行為をあげると、クリーニング店、書籍文具店、理髪店、公衆浴場、タバコに関連しており、勤労者のうちでも比較的行動的な階層であると思われる。

次に無職者についてみると、無職者の場合医院、公衆浴場、タバコに関連のある行為は小石川の方が多くなっているが、相対的には本郷地区の方が多い。また主婦ともなると、クリーニング店、薬局、買物に関する行為は2地区とも同じ程度の比率を占めて高いが、やはり無職者全体をみると本郷地区の方が外出は多いと言える。表一2—(1)―④)

最後に就学者についてであるが、タバコに関する行為は高校生以下は成人しておらず、表にはのせたが、統計的な意味を持っていない。やはり全体的傾向としては小石川地区の方が活発であり、地域のもつ生活パターンが大きく影響していると考えられる。(表一2—(1)―⑤)

次に施設の利用に関して、考察を加えると、書籍文具店に関する行為は小石川地区の勤労者、無職者の場合、調査した地域内に該当施設がなく利用上不便であり、そのために利用が減少しているとも考えられる。

表一2—(1)―① 職業階層別地域周辺行動

	クリーニング店	書籍文具店	薬局	買物行動	医院	郵便局	理髪店	公衆浴場	タバコ (自動販売機も含む)	散歩
勤 労 者 (193人)	85 (44.0)	71 (36.8)	74 (38.3)	90 (46.6)	52 (26.9)	74 (38.3)	84 (43.5)	46 (23.4)	61 (31.6)	19 (9.8)
就 学 者 (54人)	27 (50.0)	50 (91.3)	30 (55.6)	47 (87.0)	27 (50.0)	39 (72.3)	23 (42.7)	12 (22.3)	6 (11.5)	13 (24.1)
無 職 者 (75人)	54 (71.9)	43 (57.3)	48 (64.1)	49 (78.8)	40 (53.3)	55 (73.3)	16 (21.3)	24 (32.2)	12 (16.0)	23 (30.7)

(小石川地区)

	クリーニング店	書籍文具店	薬局	買物行動	医院	郵便局	理髪店	公衆浴場	タバコ (自動販売機も含む)	散歩
勤 労 者 (58人)	37 (63.6)	40 (69.0)	39 (67.3)	43 (74.2)	25 (43.2)	37 (63.6)	29 (50.0)	12 (20.7)	24 (41.4)	25 (43.2)
就 学 者 (36人)	19 (52.8)	29 (80.6)	17 (43.3)	25 (69.4)	18 (50.0)	19 (52.9)	31 (86.3)	7 (19.4)	1 (2.8)	7 (19.4)
無 職 者 (41人)	31 (75.6)	31 (75.6)	33 (80.4)	40 (97.6)	13 (32.6)	27 (67.5)	23 (57.6)	6 (14.6)	15 (37.5)	15 (37.5)

(本郷地区)

表—2—(1)—② 勤労者の地域周辺行動

	クリー ニング店	書 籍 文具店	薬 局	買物行動	医 院	郵便局	理髪店	公衆浴場	タバコ (自動販売 機も含む)	散 歩
男 子 (143人)	57 (39.9)	51 (38.7)	48 (33.6)	59 (41.2)	32 (22.4)	46 (32.2)	66 (46.2)	32 (22.2)	51 (35.7)	12 (8.4)
女 子 (50人)	28 (56.0)	20 (40.0)	26 (52.0)	31 (62.0)	20 (40.0)	28 (56.0)	18 (36.0)	14 (28.0)	10 (20.0)	7 (14.0)
合 計 (193人)	85 (44.0)	71 (36.8)	74 (38.3)	90 (46.6)	52 (26.9)	74 (38.3)	84 (43.5)	46 (23.4)	61 (31.6)	19 (9.8)

(小石川地区)

	クリー ニング店	書 籍 文具店	薬 局	買物行動	医 院	郵便局	理髪店	公衆浴場	タバコ (自動販売 機も含む)	散 歩
男 子 (35人)	21 (60.0)	25 (71.4)	22 (62.9)	21 (60.0)	14 (40.0)	20 (57.1)	25 (71.4)	8 (22.9)	20 (57.1)	13 (37.1)
女 子 (23人) (主婦で勤労者) も含む	16 (69.6)	15 (65.2)	17 (73.9)	22 (95.7)	11 (47.8)	17 (73.9)	4 (17.4)	4 (17.4)	4 (17.4)	12 (52.2)
合 計 (58人)	37 (63.6)	40 (69.0)	39 (67.3)	43 (74.2)	25 (43.2)	37 (63.6)	29 (50.0)	12 (20.7)	24 (41.4)	25 (43.2)

(本郷地区)

表—2—(1)—③ 女子勤労者の地域周辺行動

	クリー ニング店	書 籍 文具店	薬 局	買物行動	医 院	郵便局	理髪店	公衆浴場	タバコ (自動販売 機も含む)	散 歩
一 般 勤 労 者 (50人)	14 (28.8)	11 (22.0)	13 (26.3)	16 (32.0)	13 (26.0)	10 (20.0)	9 (18.0)	5 (10.0)	4 (8.0)	3 (6.0)
主婦で勤労者 (24人)	14 (58.3)	9 (37.5)	13 (54.7)	15 (62.5)	6 (29.2)	16 (66.2)	9 (37.5)	9 (37.5)	6 (25.0)	4 (16.7)

(小石川地区)

	クリー ニング店	書 籍 文具店	薬 局	買物行動	医 院	郵便局	理髪店	公衆浴場	タバコ (自動販売 機も含む)	散 歩
一 般 勤 労 者 (14人)	10 (71.4)	11 (78.6)	10 (71.4)	13 (92.9)	7 (50.0)	9 (64.3)	4 (28.6)	3 (21.4)	3 (21.4)	9 (64.3)
主婦で勤労者 (11人)	6 (54.5)	4 (36.4)	7 (63.6)	9 (81.8)	4 (36.4)	8 (72.7)	0 (0.0)	1 (9.1)	1 (9.1)	3 (27.3)

(本郷地区)

表—2—(1)—④ 無職者の地域周辺行動

	クリー ニング店	書 籍 文具店	薬 局	買物行動	医 院	郵便局	理髪店	公衆浴場	タバコ (自動販売 機も含む)	散 歩
無職者（主婦を除く） （17人）	9 (53.1)	12 (70.0)	2 (11.8)	4 (33.6)	11 (64.9)	8 (47.0)	8 (47.0)	6 (35.4)	8 (47.0)	8 (47.0)
主婦（勤労者を除く） （58人）	45 (76.6)	31 (53.3)	46 (78.3)	55 (94.6)	29 (49.9)	47 (80.0)	8 (13.8)	18 (40.0)	4 (6.9)	15 (25.8)
無 職 者 合 計 （75人）	54 (71.9)	43 (57.3)	48 (64.1)	59 (78.8)	40 (53.3)	55 (73.3)	16 (73.3)	24 (21.3)	12 (16.0)	23 (30.7)

(小石川地区)

	クリー ニング店	書籍 文具店	薬 局	買物行動	医 院	郵便局	理髪店	公衆浴場	タバコ (自動販売 機も含む)	散 歩
無職者（主婦を除く） （10人）	7 (70.0)	8 (80.0)	8 (80.0)	10 (100.0)	3 (30.0)	6 (60.0)	5 (50.0)	3 (30.0)	3 (30.0)	5 (50.0)
主婦（勤労者を除く） （31人）	24 (77.4)	25 (74.2)	25 (80.6)	30 (96.8)	10 (32.3)	21 (67.7)	18 (58.1)	3 (9.7)	12 (38.7)	10 (32.3)
無 職 者 合 計 （41人）	31 (75.6)	31 (75.6)	33 (80.4)	40 (97.6)	13 (32.6)	27 (67.5)	23 (57.6)	6 (14.6)	15 (37.5)	15 (37.5)

(本郷地区)

表—2—(1)—⑤ 就学者の地域周辺行動

	クリー ニング店	書 籍 文具店	薬 局	買物行動	医 院	郵便局	理髪店	公衆浴場	タバコ (自動販売 機も含む)	散 歩
学 生 （14人）	10 (71.4)	13 (92.9)	9 (60.4)	14 (100.0)	5 (35.7)	12 (85.7)	7 (50.0)	1 (7.1)	6 (42.9)	6 (42.9)
高 校 生 （17人）	9 (53.1)	16 (94.1)	12 (70.7)	16 (94.1)	12 (70.6)	14 (82.4)	8 (47.1)	2 (10.7)	— —	5 (29.4)
中 学 生 （10人）	6 (60.0)	9 (90.0)	6 (60.0)	10 (100.0)	5 (50.0)	6 (60.0)	3 (30.0)	2 (20.0)	—	2 (20.0)
小 学 生 （13人）	2 (15.8)	12 (92.3)	3 (23.4)	7 (53.8)	5 (38.7)	7 (53.8)	5 (38.5)	7 (53.8)	—	0 (0.0)
就 学 者 合 計 （54人）	27 (50.0)	50 (91.3)	30 (55.6)	47 (27.0)	27 (50.0)	39 (72.3)	23 (42.7)	12 (22.3)	6 (42.9)	13 (24.1)

(小石川地区)

	クリー ニング店	書 籍 文具店	薬 局	買物行動	医 院	郵便局	理髪店	公衆浴場	タバコ (自動販売 機も含む)	散 歩
学 生 （6人）	3 (50.0)	5 (83.3)	3 (50.0)	4 (66.7)	1 (16.7)	2 (33.3)	4 (66.7)	2 (33.3)	1 (16.7)	2 (33.3)
高 校 生 （8人）	8 (100.0)	8 (100.0)	6 (75.0)	7 (87.5)	6 (75.0)	7 (87.5)	7 (87.5)	1 (12.5)	— —	2 (25.0)
中 学 生 （10人）	5 (50.0)	8 (80.0)	4 (26.7)	8 (80.0)	8 (60.0)	6 (50.0)	5 (90.0)	9 (40.0)	—	1 (10.0)
小 学 生 （12人）	3 (25.0)	8 (66.7)	4 (33.3)	6 (50.0)	5 (41.7)	5 (41.7)	11 (91.7)	3 (25.0)	—	2 (16.7)
就 学 者 合 計 （36人）	19 (52.8)	29 (80.6)	17 (43.3)	25 (69.4)	18 (50.0)	19 (52.9)	31 (86.2)	7 (14.4)	1 (2.8)	7 (19.4)

(本郷地区)

b 地域周辺行動の程度

前項でも述べたように10の生活行動に関して、それぞれの行為の有無を考察したが、ここではそれらの諸々の地域周辺行動がどの程度の頻度でなされているかについて得られた結果から考察してみる。サンプル数の点から今回は勤労者についてのみにとどめた。

行動頻度はすべて「月平均」に換算し、それらを表一2—(1)—⑥の様にまとめてみた。図中の数字は頻度の高い行為から1, 2……と順位をつけたが、○印のついている行動は月平均100回以上の場合を示している。これによると、小石川地区で25%程度の者しか利用していなかった公衆浴場に関して、その頻度は1日平均に直すと1.8回/日となり、日に2度利用することがかなりあるということになる。これは自宅なり間借りなり自分の所に風呂のない人にとって、毎日印刷、製本作業をした後に汗を流すことが想像以上に要求される結果と考えられる。小石川地区と本郷地区の比較として「散歩」をあげてみると、散歩の性格から「時間の余裕」ということが、他の行為にくらべ大きな要因になると考えた場合、

表一2—(1)—⑥ 地域周辺行動の頻度 ○は100回以上/月

	クリーニング店	書籍文具店	薬局	買物行動	医院	郵便局	理髪店	公衆浴場	タバコ(自動販売機も含む)	散歩
勤 労 者	④	⑤	9	②	10	8	6	①	③	7
主婦で勤労者	4	10	7	①	6	8	9	②	3	2
勤 労 者 合 計	④	⑥	10	②	8	9	7	①	③	⑤

(小石川地区)

	クリーニング店	書籍文具店	薬局	買物行動	医院	郵便局	理髪店	公衆浴場	タバコ(自動販売機も含む)	散歩
勤 労 者	7	6	8	①	10	④	9	⑤	②	③
主婦で勤労者	5	7	6	①	8	4	9	3	3	2
勤 労 者 合 計	6	8	7	①	10	④	9	5	②	③

(本郷地区)

II—2 地域周辺行動の場所までの距離及び分布

この項では、調査地区内に居住する者が、どの辺まで行って買物をしたり、タバコを買ったりしているかを把握しようとするものである。地域の諸々の状況におかれた施設に対して居住者が選択をしているわけであるが、この利用施設までの距離の大小はあなたがちその施設のお

小石川地区の様な印刷、製本業にたずさわっているとなかなか暇を作り出すことがむずかしい。その結果が表一2—(1)—⑥に現れてきているのではないだろうか。郵便局に関する行為についても、2地区でかなり差がみられるが、これも何かそうした地域特有の生活テンポから生じることなのだろうか。また買物行動については、前項で述べたように本郷地区の女子の場合極めてその占める比率が高く、同様にここでも小石川地区に比べ1.45倍程度出掛かる回数が多くなっている。このことは本郷地区の方が小石川地区に比べある落ちつきをもった生活を送っており、又それによって主婦としての生活態度も異ってきているのではないかと推測の域であるが考えられる。

また両地区ともに行動頻度の低い行為として医院、理髪店、薬局に関するものがあげられる。

これらの施設利用は買物、タバコに関する行為と性格的に異っているが、かなり期間をおいて利用する施設でもあることを考え合せると頻度が低いこともうなずけよう。

かれた地域の性格と無関係ではないと考えるのである。今回は勤労者（主婦で働いている者は含む）と主婦（勤労者は除く）について調査した結果を図一2—(2)—①～⑨に示した。

そしてさらにそれらを地域的にプロットし、個人の行動の特性が如何なるものによるのかを若干考察してみた以下利用施設別に2地区を比較しながら考察してみる。

(a) クリーニング店 (図-2-(2)-①)

調査地域から各施設までの平均距離は小石川地区、本郷地区をそれぞれ259M、272Mである。50%利用距離(施設の位置から測って全利用者のうち50%の者が含まれる時の施設と利用者との最長距離)を見ると、本郷、小石川地区ともに110M前後であるが、勤労者をみると本郷地区の場合、60Mとかなり短い距離になっている。本郷地区を見ると、ちょうど50%利用距離(110M)から150Mまで急激に利用されはじめている。これはちょうど調査対象地域からその距離付近に施設が分布している為と考えられる。90%利用距離でみると、350M位にまとまってきている。一般に本郷地区の方が施設が近くに分布していることによって利用距離は小さくなっている。

(b) 書籍、文具店 (図-2-(2)-②)

施設分布を図-2-(3)、図-2-(4)でみると、施設までの平均距離は小石川、本郷地区それぞれ、435M、244Mと大きく異なっている。これからみると、本郷地区は調査地区に平均的に分布しているといえる。それは50%利用距離をみると、明らかにその影響がみられる。小石川地区で200M前後から急激に伸びているのは、特に勤労者にみられるが、これは国電駅方向(通勤ルート上)に施設が分布している結果であると考えられる。

(c) 薬局 (図-2-(2)-③)

小石川地区の場合、調査地区とはほとんど無関係にバス路線沿いに分布しているが、後の章にも述べるが、居住者の外出もバス路線に向っていることも考え合すると、図-2-(2)-③に示す50%利用距離が130M程度であることはうなずけよう。一方本郷地域が平均的に分布しているにもかかわらず(最短距離50M)50%利用距離が120M強になっているのは、今も述べたように駅への方向性と施設の分布とが異なっていることも一因と考えられる。

(d) 買物行動 (図-2-(2)-④)

小石川地区の南東、調査地区から御茶の水方面にかけての商業街の形成は、本郷地区における地下鉄本郷3丁目のそれに匹敵している。店舗の分布をみると小石川地区内では比較的その範囲が集中しているにくらべ、本郷地区内には平均的に分布している。50%利用距離をみると小石川地区の方がやや長い距離になっているのも商店街が地区的に集中しているためと思われる。本郷地区の場合は地下鉄本郷3丁目商店街に行くには歩道橋を渡らなければならないこと、比較的遠いこと等により駅まで出る人は自宅周辺の商店にはすでに出かけているとも

考えられる。その結果として、図-2-(2)-④の300M前後にみられるように利用者が断続して現われてきている。(図中、水平線になるところ)。

(e) 医院 (図-2-(2)-⑤)

施設の分布をみると、小石川地区の中央付近に3医院あり、その状況が小石川地区主婦のグラフにあらわれている。また本郷地区においては調査地区周辺に分布されており、ちょうど50%利用距離170～200Mにあらわれている。

50%利用距離に2地区がはっきりグルーピングされて示されているが、医院のように利用上施設の選択性のある特異な性格をもった施設は、ここで見るように地域にどう配置されているかによって利用距離は決められると言っても良いだろう。小石川地区において、800M程度まで利用しているのは、主治医制度等「いきつけの医院」的利用が多い為とも考えられる。

(f) 郵便局 (ポストも含む) (図-2-(2)-⑥)

郵便局のように、わざわざ出掛けて行くような施設でない場合は、最寄の駅、バス停までのルート上に設けられていることが1つの利用要因となっている。即ち小石川地区で言うところの御茶の水駅へのルート沿にあるポストがまた本郷地区においては、地下鉄本郷3丁目付近にあるポストの利用が極めて高くあらわれてきていると言えよう。

(g) 理髪店 (図-2-(2)-⑦)

調査地区内に関しては小石川地区の方が施設数は若干多く分布しており、御茶の水駅方向の通勤ルート沿線に散在している。また本郷地区は調査地区の周辺にとり巻いているといった感がある。本郷地区の施設分布の方が調査地区に近いことから、当地区のどの階層とも利用距離が小さくなるはずであるが、第1項でも述べたように勤労者の地域行動への活発さの為か50%利用距離をみると勤労者階層はより遠くまで出掛けているとも言えよう。また90%利用距離をみると、2地区、2階層とも約300M強で、ちょうど施設分布の平均的距離となっている。

(h) 公衆浴場 (図-2-(2)-⑧)

公衆浴場の利用は、必要不可欠なものであるから、施設分布によってその利用距離はおのずと決つてくるとも言える。

(i) タバコ屋 (自動販売機も含む) (図-2-(2)-⑨)

施設分布は小石川地区の方が調査地区中央に分布しており、それは50%利用距離をみても、小石川地区の2階

層とも本郷地区のそれより小さくなっている。

以上のように施設の利用距離をみてきたわけであるが、大きくその利用距離を決める要因として、1つには施設自身がつ性格である。つまり、①施設利用上、「かかりつけ」あるいは「御得意先」的性格を持つもので、多少遠くても固定的に利用する施設、②、①のような特定な性格はないが、魅力（吸引力）の強い施設、③施設利用に特別の意識をもたず、例えば通勤ルート沿線にあるというように他の外的要因——地域の特性——によって選択される施設、の3つに大別されると言えよう。

次に今まで述べてきた施設のうち、クリーニング店、薬局、買物行動について、施設利用者の所在地、及び後述する選択ルート、駅バス停留所と関連をもたせながら地域周辺行動の方向性について考察を加えてみた。（図省略）それによると、①施設からみて同心円状に一樣に利用され、ルート・駅には無関係な場合、②ルート・駅に吸引されている場合とに大きく2分される。小石川地区では、①として郵便局、薬局、公衆浴場、②として書籍・文具店、商店、郵便局（ポストを含む）、理髪店、医院、クリーニング店があげられる。後者のうちクリーニング店は、施設特有の「御得意様」的選択傾向がみられ、理髪店、医院は「施設の少なさ」「施設の内容」等による選択の傾向がみられる。小石川地区の場合、商店はルート沿に書籍文具店は地域に均等に配分されているが、共にルート及び駅に吸引されている。

一方本郷地区では、商店に関しては小石川地区にくらべ、拠点的に集中配置されているため、①に近い傾向を示している。

以上地域周辺行動の場所までの距離及びその分布について述べてきたが、次に居住者の地域における行動の広さについて考察する。

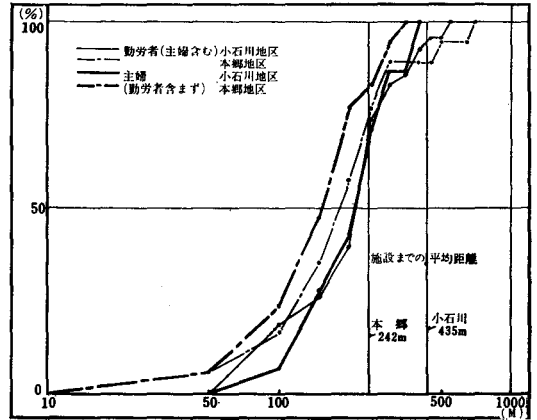


図-2-(2)-② 地域周辺行動の場所までの距離—書籍・文具店—

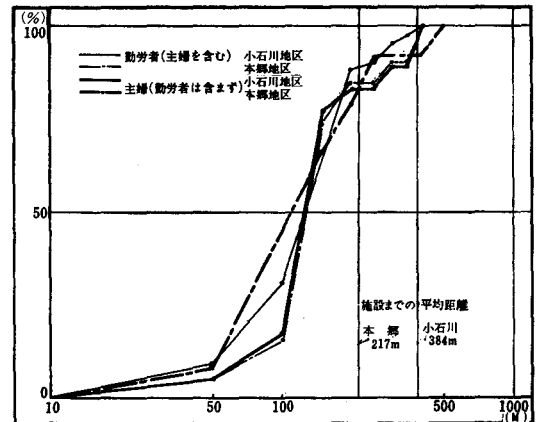


図-2-(2)-③ 地域周辺行動の場所までの距離—薬局—

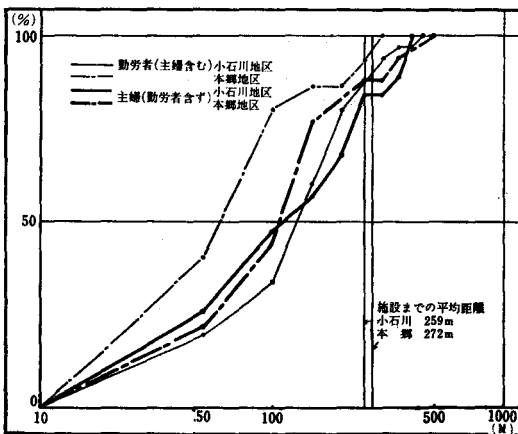


図-2-(2)-① 地域周辺行動の場所までの距離—クリーニング店—

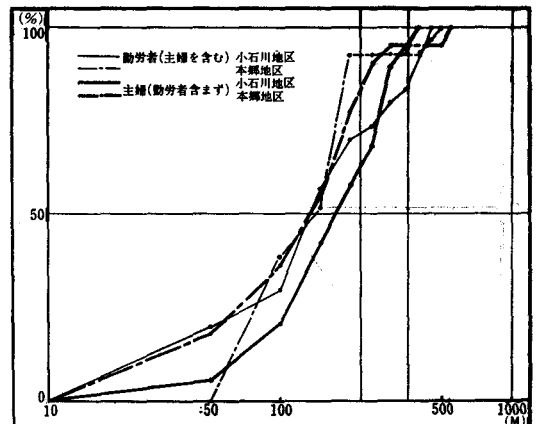


図-2-(2)-④ 地域施設行動の場所までの距離—買物行動—

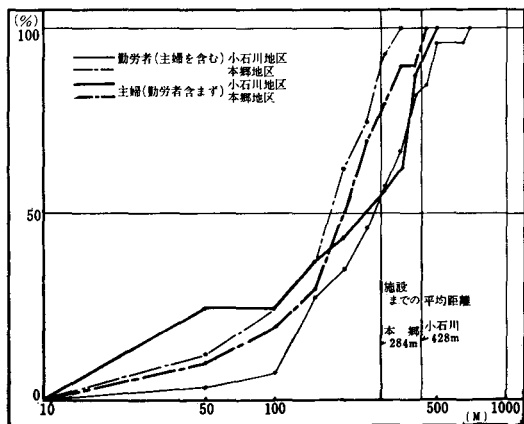


図-2-(2)-⑤ 地域周辺行動の場所までの距離-地域医療施設(医院)-

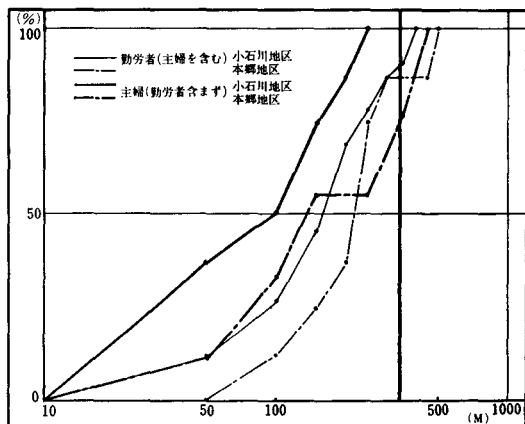


図-2-(2)-⑥ 地域周辺行動の場所までの距離-公衆浴場-

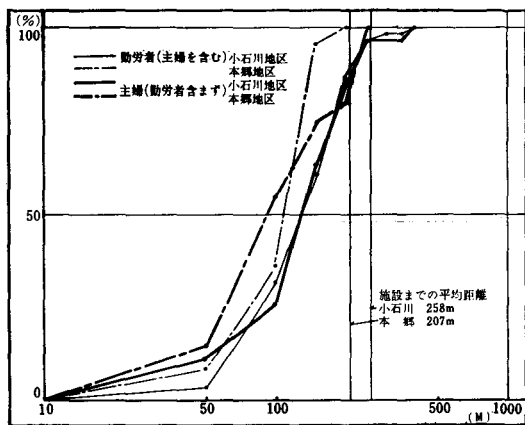


図-2-(2)-⑦ 地域周辺行動の場所までの距離-郵便局(ポスト)-

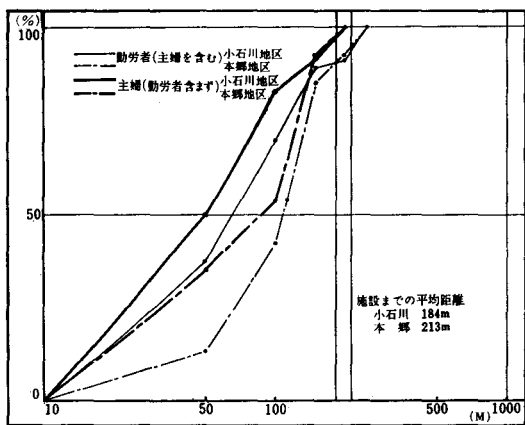
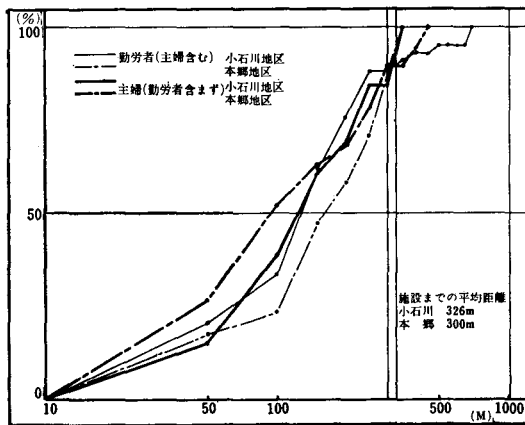
図-2-(2)-⑧ 地域周辺行動の場所までの距離
-タバコ販売店(自動販売も含む)-

図-2-(2)-⑨ 地域周辺行動の場所までの距離-理髪店-



図-2-(2)-⑩ 調査地区施設分布-クリーニング店-小石川地区

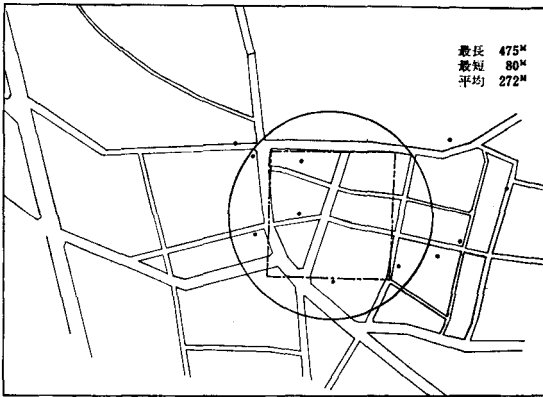


図 2-(2)-①-㊸ 調査地区施設分布—クリーニング店—本郷地区

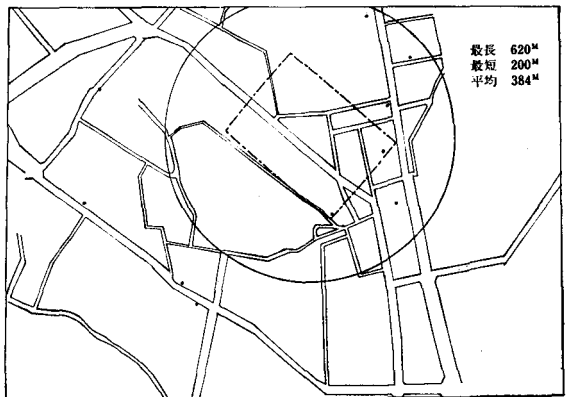


図 2-(2)-③-㊿ 調査地区施設分布—薬局—小石川地区

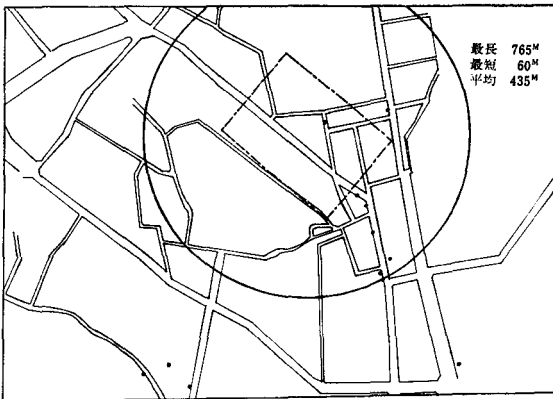


図 2-(2)-②-㊿ 調査地区施設分布—書籍文具店—小石川地区

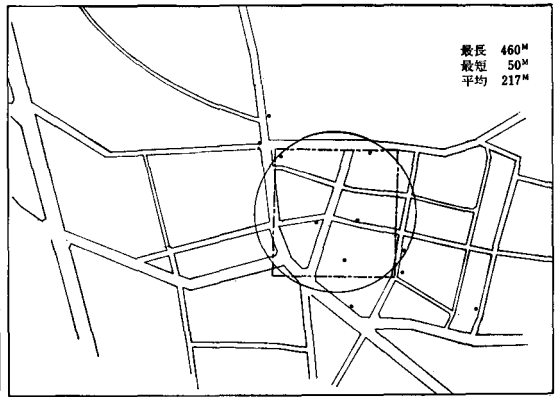


図 2-(2)-③-㊸ 調査地区施設分布—薬局—本郷地区

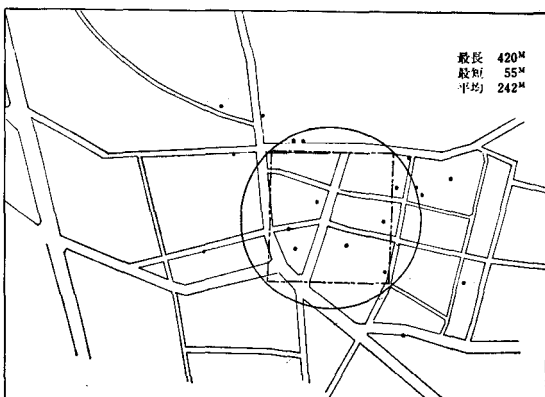


図 2-(2)-②-㊸ 調査地区施設分布—書籍文具店—本郷地区

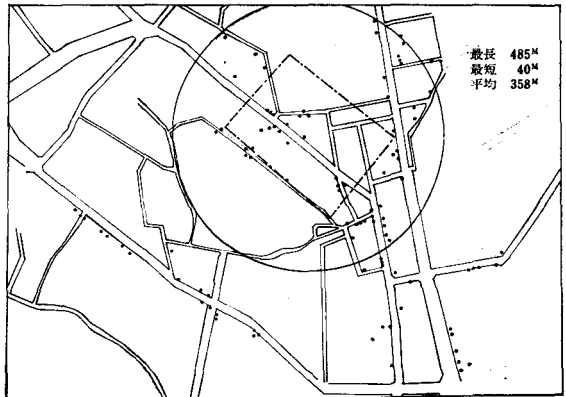


図 2-(2)-④-㊿ 調査地区施設分布—商店—小石川地区

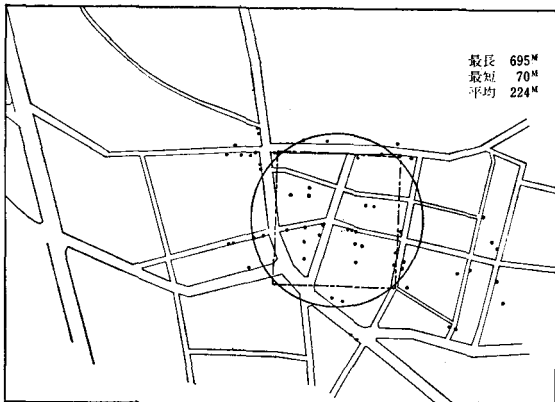


図 2-(2)-④-⑥ 調査地区施設分布—商店—本郷地区

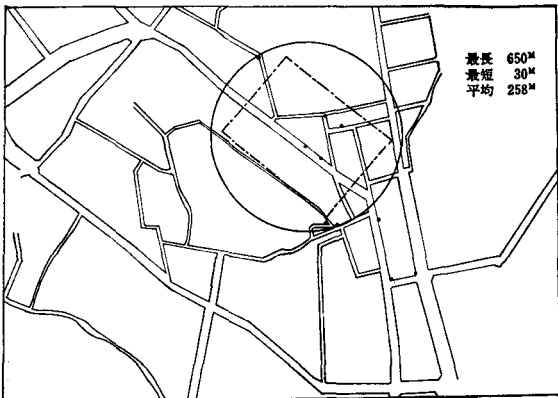


図 2-(2)-⑤-④ 調査地区施設分布—郵便—小石川地区

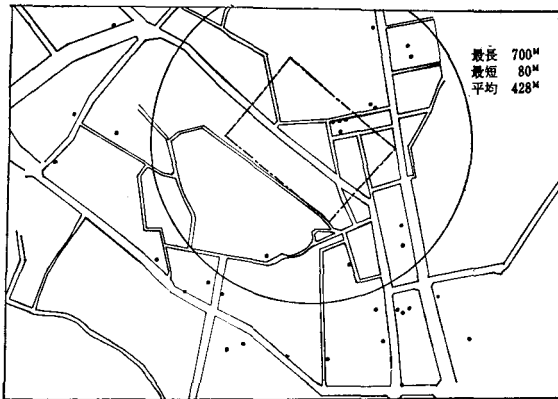


図 2-(2)-⑤-④ 調査地区施設分布—医者—小石川地区

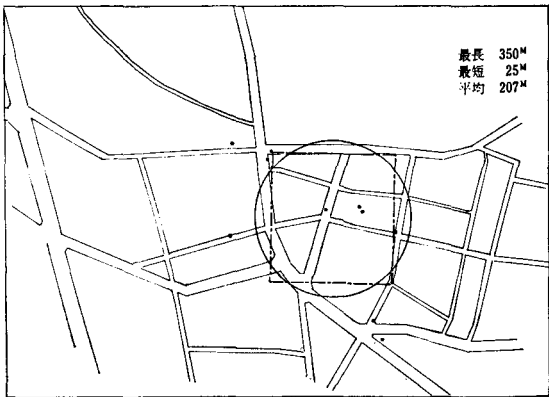


図 2-(2)-⑥-⑥ 調査地区施設分布—郵便—本郷地区

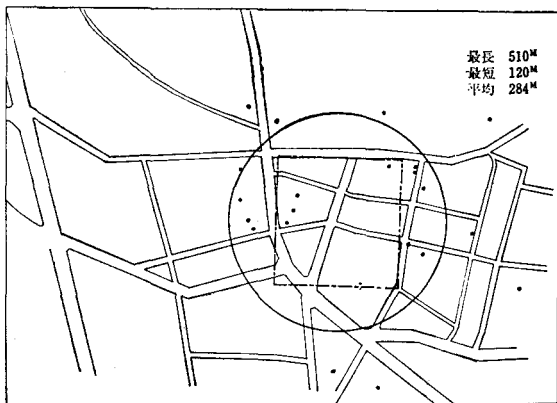


図 2-(2)-⑤-⑥ 調査地区施設分布—医者—本郷地区

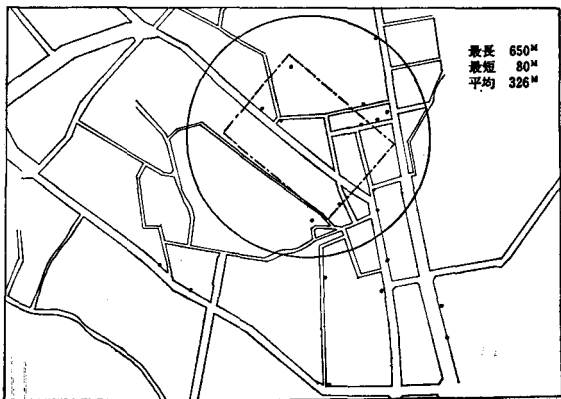


図 2-(2)-⑦-④ 調査地区施設分布—理髮店—小石川地区

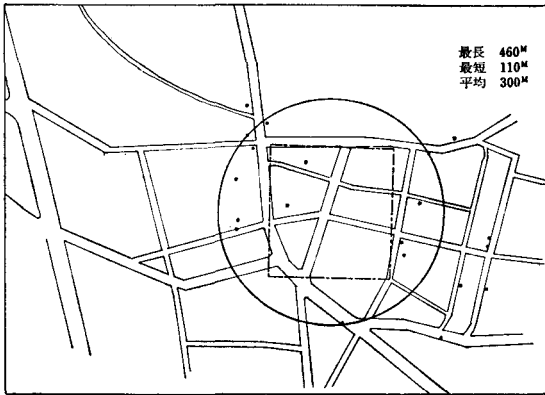


図 2-(2)-(7)-⑥ 調査地区施設分布—理髪店—本郷地区—

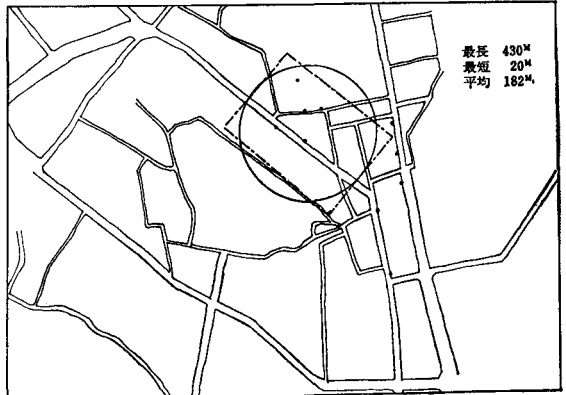


図 2-(2)-⑧-④ 調査地区施設分布—タバコ(自動販売機)—小石川地区—

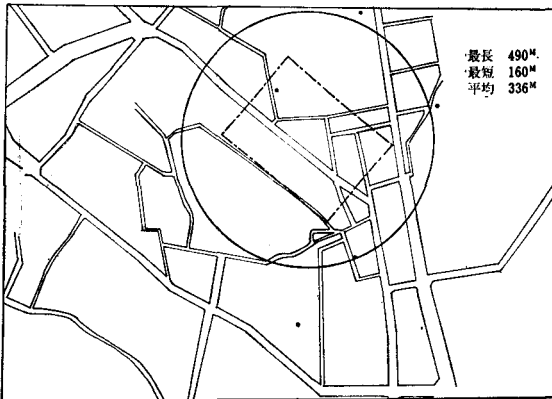


図 2-(2)-⑧-④ 調査地区施設分布—公衆浴場—小石川地区—

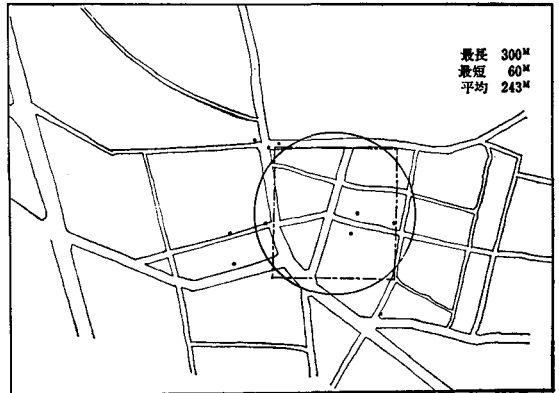


図 2-(2)-(9)-⑥ 調査地区施設分布—タバコ(自動販売機)—本郷地区—

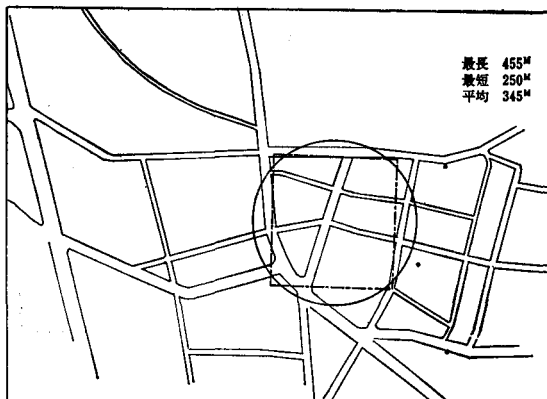


図 2-(2)-⑧-⑥ 調査地区施設分布—公衆浴場—本郷地区—

II-3 地域周辺行動による活動の広さ

文京区小石川、本郷の2地区の1.5×2.1kmの対象地区内における理髪店、公衆浴場、地域医療施設、(医院)郵便局・ポスト、タバコ屋、クリーニング屋、書籍・文具店、薬局、日用品買物店等の利用や散歩等の行為について自宅を中心とした行動範囲の広さを見るために、調査対象者に施設利用又は散歩等の行為を行う場所を調査し、それらの場所を自宅を中心にして遠い場所を線によって結び、その線によってかこまれた範囲をその人の周辺行動範囲とし、行動範囲の面積をプランメーターで測定した。

その結果を示すと小石川地区、表2-(3)-①本郷地区表2-(3)-②の様になる。この結果からみると全体的には約4×10⁴m²位の行動範囲となっており、比較的面積として見ると狭いと言える。小石川地区と本郷地区を比

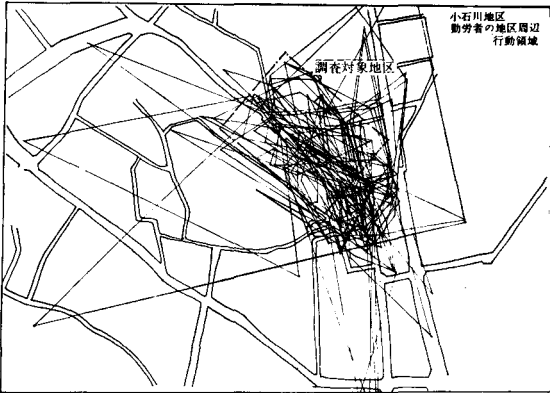


図-2-(3)-①

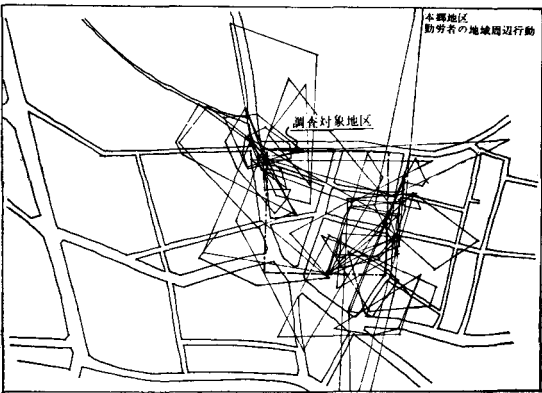


図-2-(3)-③

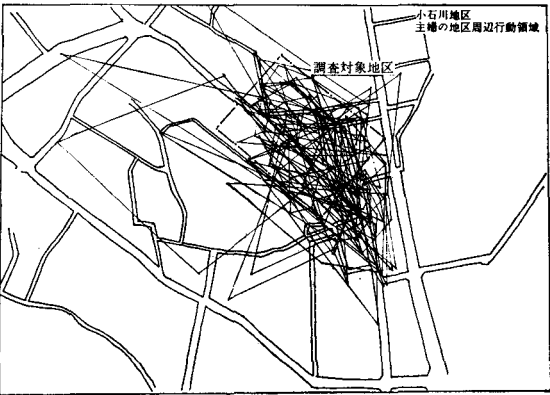


図-2-(3)-②

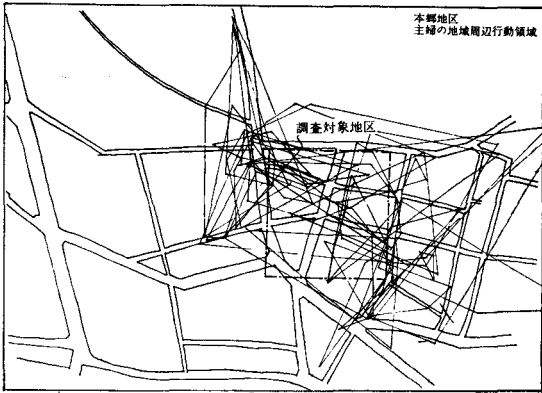


図-2-(3)-④

表2—(3)—① 地域周辺行動による活動の広さ

() はパーセント

* 単位 (×10³m²)

階 層 \ 広 さ	0～20	20～40	40～60	60～80	80～100	100～	合 計 (人)	平 均 (×10 ³ m ²)
勤 労 者	23 (41.1)	19 (33.9)	5 (8.9)	5 (8.9)		4 (7.2)	56 (100)	45.4
主婦で勤労者	4 (30.7)	3 (23.1)	3 (23.1)	1 (7.7)	1 (7.7)	1 (7.7)	13 (100)	100 42.5
主 婦	24 (49.0)	13 (26.5)	8 (16.3)	1 (2.0)	1 (2.0)	2 (4.2)	49 (100)	29.0
学 生・高校生	6 (26.1)	8 (34.8)	5 (21.7)	1 (4.3)	1 (4.3)	2 (8.8)	23 (100)	43.6
中学生・小学生	6 (50.0)	3 (25.0)	2 (16.7)	1 (8.3)			12 (100)	25.9 (100)
合 計	63 (41.2)	46 (30.1)	23 (15.0)	9 (5.9)	3 (1.9)	9 (5.9)	153 (100)	28.1

表2—(3)—② 地域周辺行動による活動の広さ

(小石川地区)

() はパーセント

* 単位 (10³m²)

階 層 \ 広 さ	0～20	20～40	40～60	60～80	80～100	100～	合 計 (人)	平 均 (×10 ³ m ²)
勤 労 者	10 (33.3)	12 (40.0)	3 (10.0)	2 (6.7)	0	3 (10.0)	30 (100)	37.8 (81.7)
主婦で勤労者	1 (20.0)	2 (40.0)	2 (40.0)				5 (100)	30.9
主 婦	8 (32.0)	7 (28.0)	1 (4.0)	6 (24.0)	1 (4.0)	2 (8.0)	25 (100)	47.6
学 生・高校生	3 (75.0)	1 (25.0)					4 (100)	15.8
中学生・小学生	6 (42.9)	2 (14.3)		2 (14.3)		4 (28.5)	14 (100)	53.4
合 計	28 (35.9)	24 (30.8)	6 (7.7)	10 (12.8)	1 (1.3)	9 (11.5)	78 (100)	42.2

(本郷地区)

較すると若干小石川地区の行動範囲が狭い。

これは小石川地区の施設が商店街等の形で比較的集中しているのに対して、本郷地区は施設が分散していることによると言える。階層別に見ると2地区で共通して言えるのは主婦勤労者は、勤労者より行動範囲が若干狭く、勤労者の3～9割で、これは主婦勤労者が時間等の関係で行動範囲が狭くなっていると考えられる。

その他の階層については地区でかなり異なっており、主婦は小石川地区では中学生・小学生について行動範囲が狭く、本郷地区では逆に中学生・小学生について行動範囲が大きい。

これは前述のように商店等の施設の分布状況によるものと考えられ、その意味で小石川地区で商店等の施設が自宅の付辺にあり、行動範囲が狭くなっていると言える。学生・高校生、中学生・小学生は地区でかなり異なり、本郷地区の学生・高校生は回収者の数が少なく妥当な値と言えない。又中学生・小学生については地区の中で小石川地区では80×10³m²以上行動するものがないのに対して本郷地区では100×10³m²以上の行動範囲のものも見られ、それが地区の中学生・小学生の行動範囲の相異となっている。次に地区の勤労者と主婦について地区周辺行動の広がりを見ると図2—(3)—①、図2—

(3)―②, 図2―(3)―③, 図2(3)―④の様に示せ, 小石川地区と本郷地区でははっきり相違が見られ, 小石川地区は勤労者, 主婦とも商店等の施設が集中している白山通り沿いの一方に拡張しているのが見られるのに対して, 本郷地区は商店等のある方向と駅等の方向への2方向に分かれる。

これは2地域の商店等の分布と交通条件の違いが明確に現われたものと言えよう。これを勤労者と主婦の階層別に見ると, 小石川地区では勤労者, 主婦とも余り変わらないのに対して, 本郷地区では主要な商店街の方向は勤労者, 主婦とも同様に拡張しているが, 駅方向は勤労者が主で, 主婦は横のもうつ別の商店等が散在している方向へ拡張しているのが目立つ。この様に主婦の地域周辺行動は商店等の分布に大きな影響をうけ, 勤労者は特に駅等の交通条件の良さが無い場合は主婦と同様で, 駅等の交通条件の良さがある場合は駅等に大きな影響を受けると言えよう。

II-4 居住地周辺における外出ルート(通勤・買物・通学)の選択について

一般に地域における行動の基礎をなすものは日常的な通勤・通学, 買物等の行動で, 前記の地域周辺活動である理髪店, 公衆浴場, 地域医療施設(医院), 郵便局・(ポストを含む)タバコ店, クリーニング店, 書籍・文具店, 薬局, 日用品買物店等の利用や散歩等の行為も当初は日常的な通勤・通学, 買物等の基礎的な行動からその行動範囲を拡大していく場合も多いと考えられる。そのため自宅を中心に最寄のバス停留所, 駅まで, 及び徒歩のみで職場, 学校に行ける場合はそこまでのルートを記入してもらう方法によって基礎的な行動である通勤, 通学, 買物等のルートを調べた結果について報告する。

(a) 外出ルートの選択理由, 及び距離と道路状況

④ 最短ルートを選択しているかどうか外出ルートに

ついて記入されている地図を用い, 目的地までのルートが最短のルートがとられているかどうかについて見るために, 各調査対象者のルートを地図で検討しまとめた。

(図2―(4)―①, 図2―(4)―②)それによると, 全体的には80～85%の人が最短ルートを通っている。階層別に見ると小石川地区で主婦が最も最短ルートを通っているのに対して, 本郷地区では勤労及び主婦で勤労の階層が最も最短ルートを通っている。学生・生徒・児童等の階層は地区とも他の階層に比して最短ルートをとるものが若干少ない。

⑤ ルート選択理由

前項で示したようにかなりの人が最短ルートを通っていることが分ったが, それについてルート選択の理由を調べた結果を示す。(図2―(4)―③, 図2―(4)―④)ほとんどの人が, 近いことを理由にルートを選択しており, 若干の人が歩いていくのに良いという理由でルートを選択している。

2地区の比較を行うと本郷地区に歩くのが良いということを選択している人が若干多い。これは道路状況によってと考えられ, 本郷地区は比較的格子状道路で明瞭であり, 選択しやすく, それに対して小石川地区は乱れており選択しにくいことによると考えられる。又両地区ともいやな所を避けて通る様な例は1例も見られない。

⑥ 選択ルートの道路状況

選択されるルートについて, 道路の幅員, 横断歩道の有無, 歩行者道の有無, 通過交通量等の道路状況等との関連を見ると, 道路状況からは道路幅員が広くて整備されている。歩行者道路が設けられている等の道路が良く選択されている。又前項で若干見られた歩くのに良いという選択理由は選択された道路状況から見ると商店街の様ないわゆる人の集まるにぎやかなルートや, 車と交差しないルートが選択される傾向が見られる。(図省略)

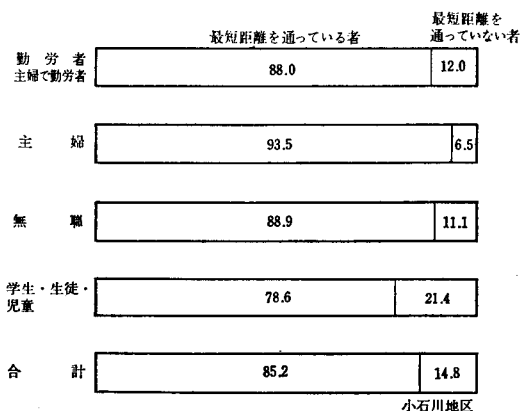


図2-(4)-①

居住地周辺における外出ルートの選択

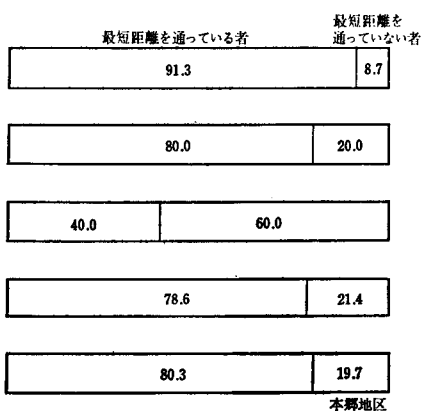


図2-(4)-②

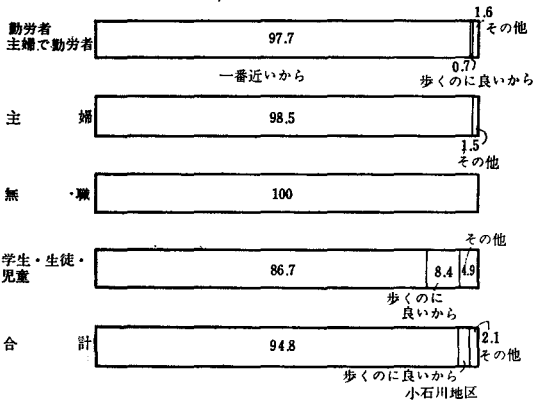


図 2-4-3

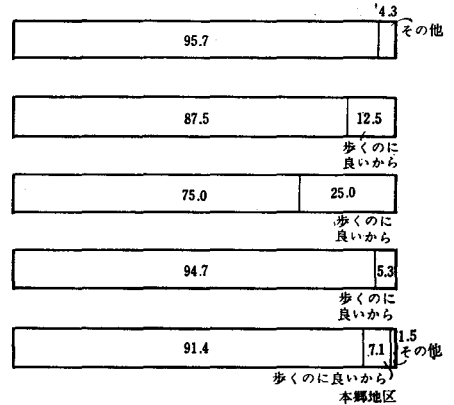


図 2-4-4

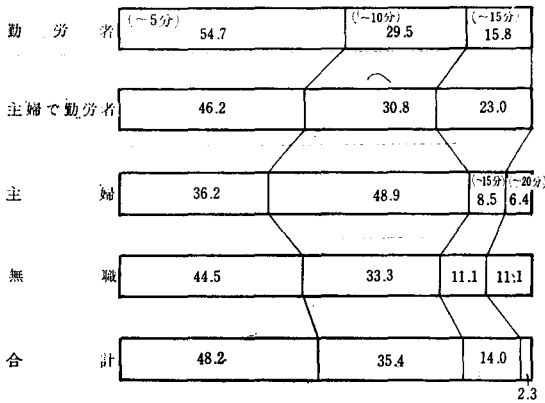


図 2-4-5 小石川地区

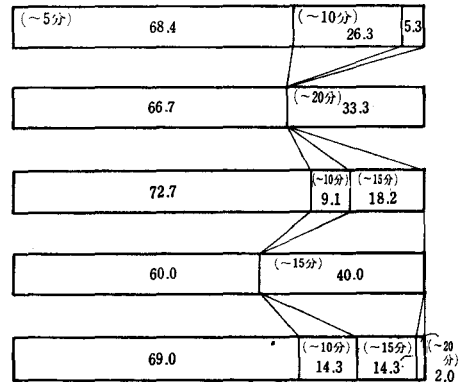


図 2-4-6 本郷地区

(b) 外出ルートの徒歩時間

通勤・買物等の行動において最寄りの交通機関、又は徒歩のみの場合はその場所までの徒歩時間について見る。(図 2-4-4-⑤、図 2-4-4-⑥) 全体的には自宅から10分程度歩く人が85%程度を占める。2地区を比較すると本郷地区で2割程度の人が5分以下である。これは本郷地区は地下鉄の駅等が小石川地区に比べて近くにあり、当然と言える。又各階層別に比較すると小石川地区は本郷地区より若干交通が不便なため時間がかかっているが、勤労者は両地区とも差が少ない。これは勤労者が毎日徒歩等の時間を短縮して通勤しているためと考えられ、主婦は小石川地区と本郷地区では差がはっきりし、小石川地区はほぼ倍の時間がかかっている。他の階層については回収数が少なく、一概に言えない。

(c) 通勤、買物における交通機関までの直線距離による地域の比較

通勤、買物の行動において利用する交通機関までの直線距離を見ると表 2-4-1-①の様に示せ、全体的には280～380m程度は歩いている。小石川、本郷の2地区を比較すると小石川地区が若干交通が不便なことが影響し、200m程度交通機関までの直線距離が多くなっている。

これを目的とする交通機関の内容別に見ると、全ての交通機関に対して小石川地区の距離の遠さが目立つ。本郷駅等に遠い地域はバス等の交通機関によって補なわれることが望ましいが、現状では駅等に遠い地域はバス、都電等もめぐまれていないと言える。これを階層別に見ると勤労者は駅が近い場合はバス停がかなり近くないと乗らず、駅が遠い場合はバス停が遠くても利用している。又主婦勤労者は駅もバス停も近いものを利用し、主婦は駅とバス停の距離の差が他の階層に比して少なく、これは買物等の場所によって、そこまでの歩く距離を考

慮して適当に選択しているためと考えられる。以上の様に各階層の時間に対する置かれている状況と地域の交通条件によって選択する交通機関等が異なってくると言える。

表 2—(4)—①

通勤・買物における交通機関までの直線距離

	歩 行 内 容	歩行距離 (m)	平均距離 (m)
小石川地区	駅まで歩く人	733.4	453.3
	バス停まで歩く人	262.4	
	都電停まで歩く人	364.1	
本郷地区	駅まで歩く人	393.8	250.3
	バス停まで歩く人	133.3	
	都電停まで歩く人	223.9	

一方、この距離分布をみると、通勤については小石川、本郷地区の平均の50%距離（勤労者の50%が含まれる交通機関までの距離）は340mで、75%距離は600mである。これを累積比率曲線で示すと図 2—(4)—⑦の様示せる。又 2 地区についてこれを比較すると50%距離では小石川地区が近く、75%距離では本郷地区が近くなっている。これを図に示すと図 2—(4)—⑧、図 2—(4)—⑨のようになる。これは本郷地区では駅がバス停より遠いが小石川地区に比べ近距離の駅まで歩く人が多くなるためなるためであり、また本郷地区では75%距離でも近くのバス停、都電等を利用する人が増加して距離的には近くなるためとる。言いかえると、言え75%距離位に地域の交通条件の良さの差がはっきり出てくるもの と言え

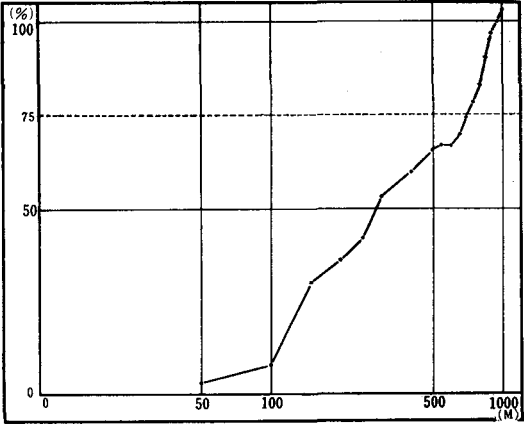


図 2—(4)—⑧ 通勤における交通機関までの直線距離の累積比率(小石川)

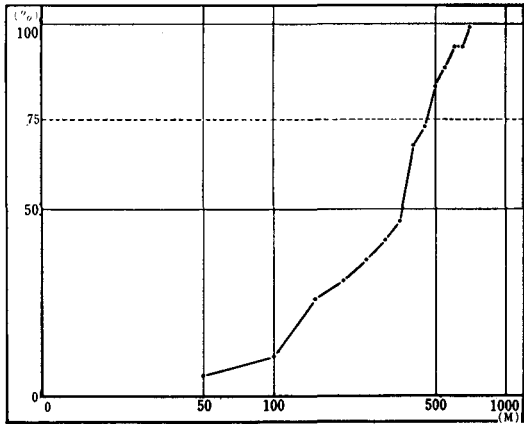


図 2—(4)—⑨ 通勤における交通機関までの直線距離の累積比率(本郷)

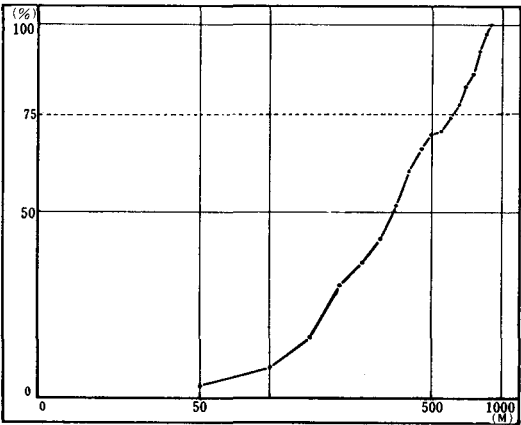


図 2—(4)—⑦ 通勤における交通機関までの直線距離の累積比率(本郷)

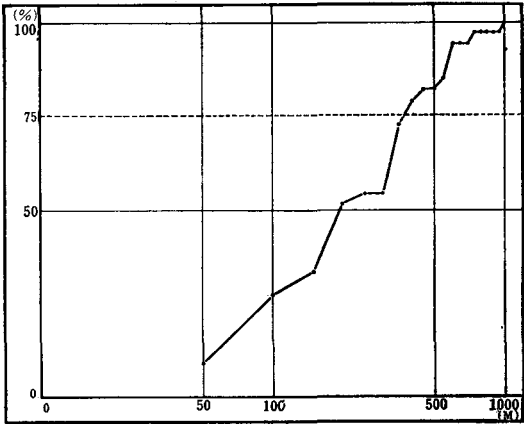


図 2—(4)—⑩ 交通機関を利用する主婦の買物行動の交通機関までの直線距離/累積比率(小石川)

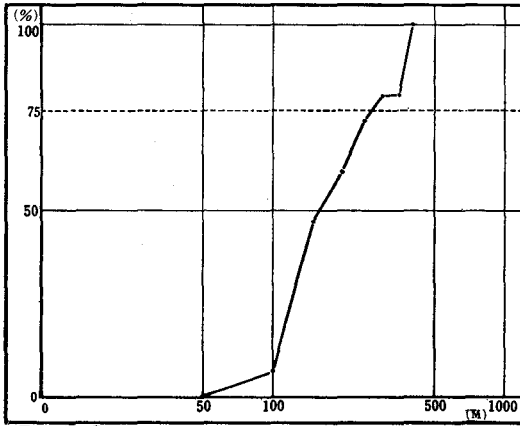


図-2-(4)-⑩ 交通機関を利用する主婦の買物行動の交通機関までの直線距離累積比率(本郷)

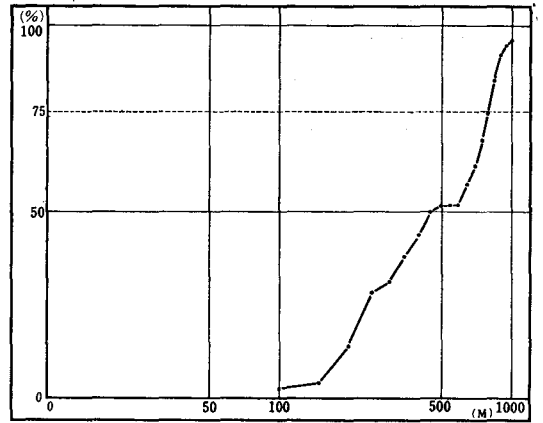


図-2-(4)-⑪ 通勤における交通機関までの実距離の累積比率(小石川)

る。次に主婦についての交通機関を利用した買物行動についてこれを見ると、通勤と同様に本郷地区では駅が小石川地区より近いため、駅まで歩く人が多く、50%距離が遠くなり、75%距離では逆になっている。これを図に示すと図2-(4)-⑩、図2-(4)-⑪の様に示せる。

(d) 通勤、買物における交通機関までの実距離による地域の比較

次に通勤、買物における交通機関までの実距離を見ると、通勤については小石川、本郷地区の平均の50%距離は450mで、75%距離は740mである。これを累積比率曲線で示すと図2-(4)-⑫の様に示せる。又2地区についてこれを比較すると50%距離では本郷、小石川地区はほとんど同じで、75%距離では本郷が200m程度近くなっている。これを前項の直線距離による分析と比較すると交通条件の影響が前項の直線距離による比較では比較的

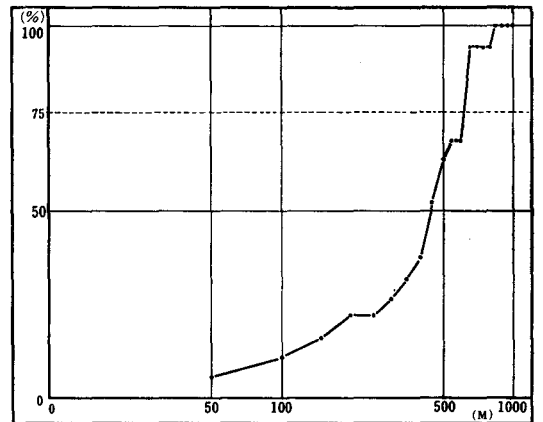


図-2-(4)-⑫ 通勤における交通機関までの実距離の累積比率(本郷)

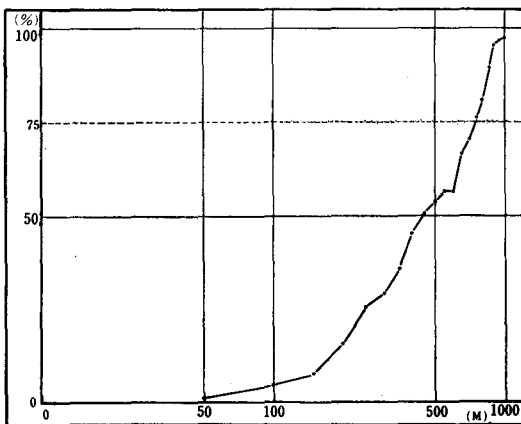


図-2-(4)-⑬ 通勤における交通機関までの実距離の累積比率(本郷)

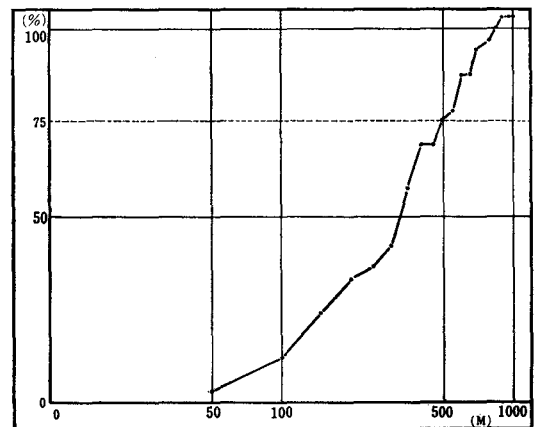


図-2-(4)-⑭ 交通機関を利用した主婦の買物の交通機関までの実距離累積比率(小石川)

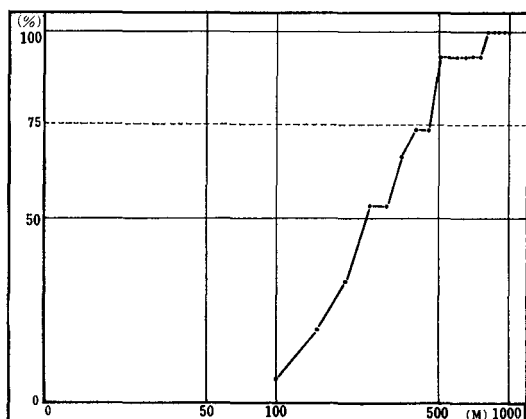


図2-4-13 交通機関を利用した主婦の買物行動の
交通機関までの実距離累積比率（本郷）

明確にとらえることが出来たが、実際に歩いている距離から見ると25%～50%距離では道路の状況、通勤ルートのとおり方等によって差はあまり見られず、25%以下と50%距離以上においてはやはり本郷地区の交通条件の良さが明確に出ている。これを図で示すと図2-4-13、図2-4-14の様に示せる。主婦の交通機関を使用した買物について見ると50%距離、75%距離とも本郷地区が近く、交通条件の差が見られるが通勤等に比べて差が少なく、買物行動の特徴と見られる。これを図に示すと図2-4-15図2-4-16の様に示せる。

(e) 交通機関を利用した通勤、買物行動の直線距離と実距離からみた地域の比較

前項の④、(e)で検討した直線距離と実距離について、その直線距離に対する実距離の比から地域の比較を行うと、データーの差から明確には言えないが、小石川地区より交通条件の良い本郷地区において若干比が大きい。

図2-4-17 直線距離に対する選択ルート歩行距離の比

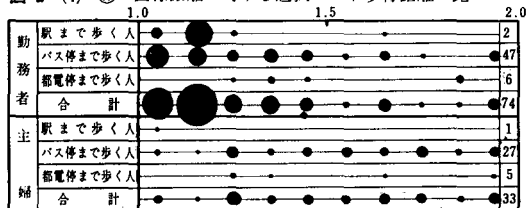
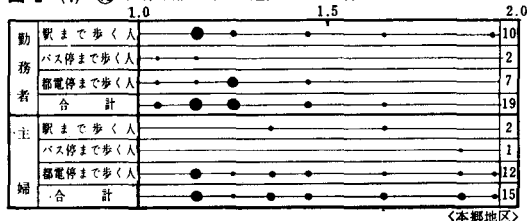


図2-4-18 直線距離に対する選択ルート歩行距離の比



これは1つには小石川地区は概して交通機関までの距離があり、道路を実際に歩くことによる多少の回り道等の距離の差があまり影響を受けず、又小石川地区は道路が本郷地区ほど格子状が明確でなく、道路及び交通機関の選択の仕方によっては比較的短い距離で交通機関まで到達することが可能で、これは前項(a)の分析においてわかった様に最短ルートを歩く人がほとんどであることからこのような結果になると言える。逆に本郷地区は概して歩行距離が短かく、かつ格子状道路であるため、格子状道路を回って歩いていく距離の差が比較的影響を受けやすいため若干比率が大きいものが多くなっていると言える。又全般的には直線距離の1.1～1.3倍程度の道のりを実際には歩いている人が多いと言える。(図2-4-17)

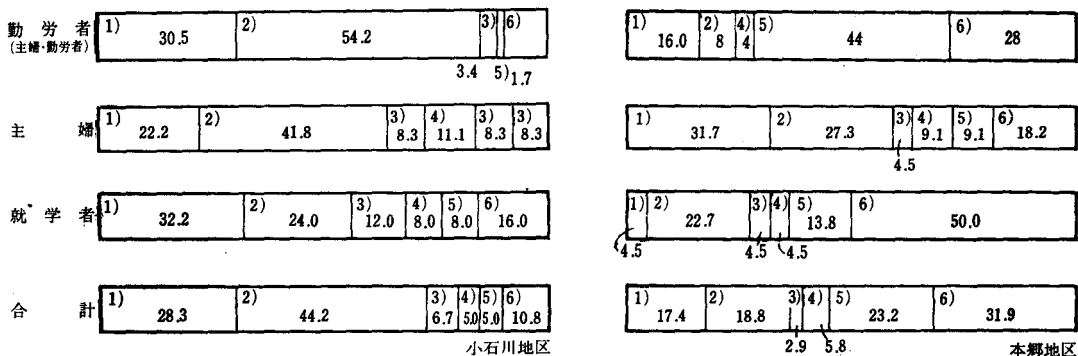
II-5 地域周辺行動と通勤、買物行動との関連から見た地域の比較

地域における行動拡大の基礎の1つである通勤、通学、交通機関を利用した買物等の行動と、もう1つの基礎である地域周辺行動の理髪店、公衆浴場、地域医療施設(医院)、郵便局、ポスト、タバコ店、クリーニング屋、書籍・文具店、薬局、日用品買物店等の利用や散歩等の行動との関連を見るために前者のルートと後者による地域周辺行動実際に利用している施設を自宅から遠いものを選び、線によってかこまれた範囲をいう)との関連を見る。

(a) 通勤、交通機関を利用した買物のルートと地域周辺行動との位置的関係

通勤、交通機関を利用した買物のルートと地域周辺行動との位置関係を6種類に分類すると、①ルートを中心にルートに沿って地域周辺行動を行っている。②ルートを中心にではあるが広範囲に地域周辺行動を行っている。③ルートを含まないが比較的ルートに沿って地域周辺行動を行っている。④ルートを含む形で、地域周辺行動が広範囲に広がっている。⑤ルートと無関係な方向に広がっている。⑥ルートの反対方向で地域周辺行動を行っている。となる。これを地区について見ると小石川地区は①、②の比率が多く、本郷地区は⑤、⑥が多く、次いで①、②が多い。(図2-5-1)これは2地区の地域の状況によるもので、小石川地区は前掲の地区周辺行動の施設が比較的周辺の道路沿いに分布し、バス停、地下鉄の駅等もその道路沿いにあるため①、②の比率が高く、本郷地区は比較的近い国電、地下鉄の駅が前掲の施設(特に商店街)が反対方向にあるため、⑤、⑥の比率が高く、かつ、本郷地区自体に前掲の各施設がかなり立地しているために次いで①、②の比率が高くなるためである。前掲の施設の分布を図に示すと小石川地区、図2

図-2-(5)-① 交通機関を利用した通勤買物のルートと地域周辺行動関連



※ (注)

- 1) ルートを中心にその沿線で活動している。
- 2) ルートを中心に広範囲にわたって活動している。
- 3) ルートにそって活動している。(ルートを含まない。)
- 4) ルートにあまり関係なく、ルートを囲むようにして活動している。
- 5) 一部はルート付近で活動しているがほとんどは無関係な方向に広がっている。
- 6) ルートの反対方向で活動している。(数字は%)

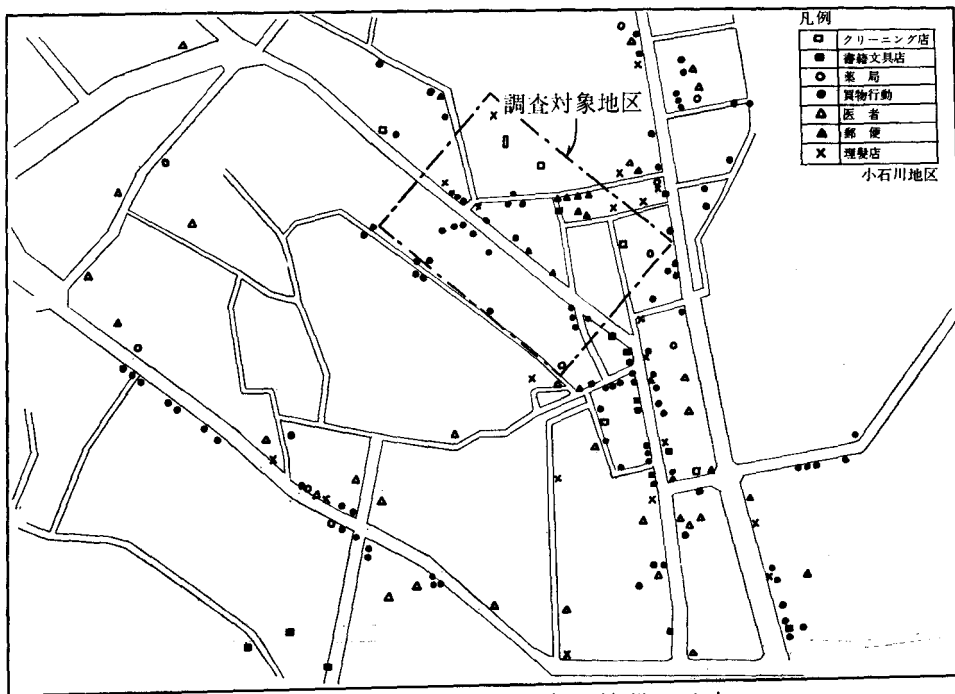


図-2-(5)-② 小石川地区の各種施設の分布

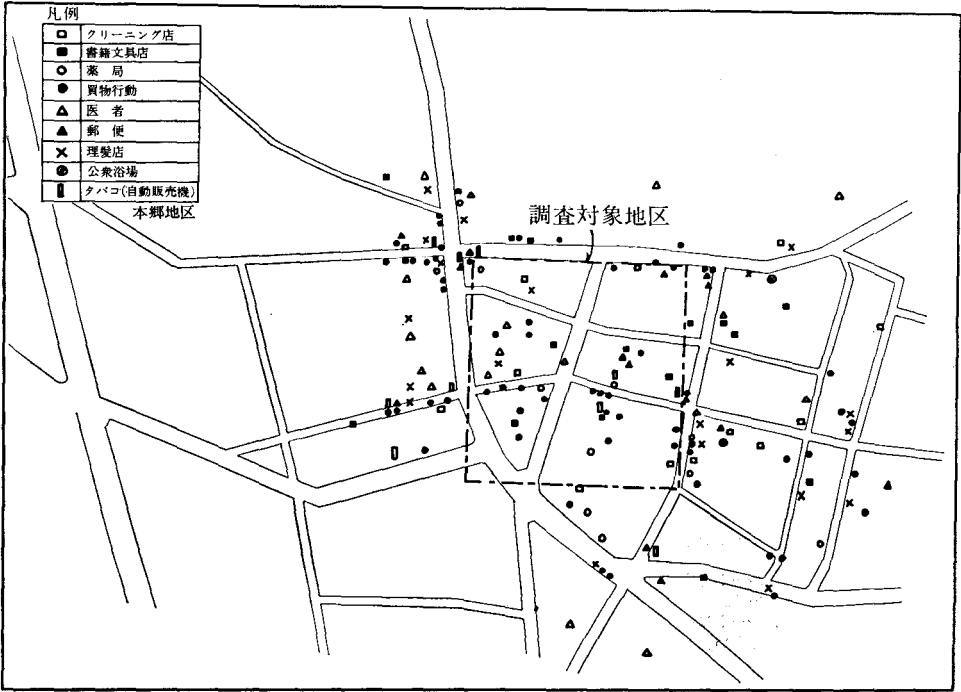


図-2-(5)-③ 本郷地区の各種施設の分布

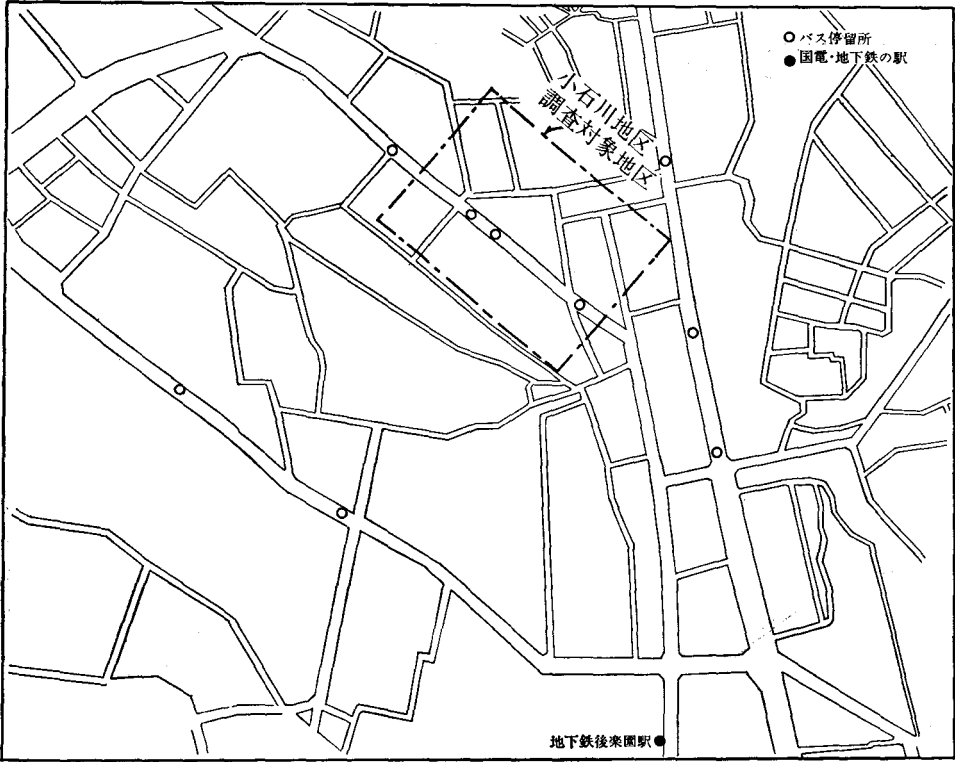


図-2-(5)-④

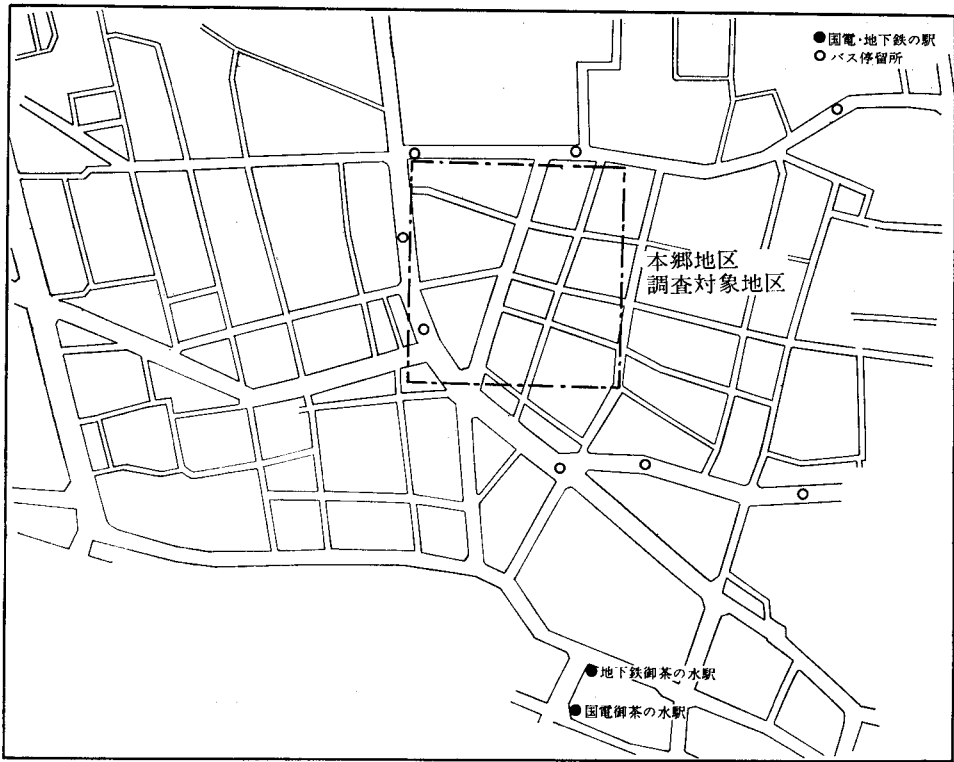


図-2-(5)-⑤

図-2-(5)-⑥ 交通機関を利用した通勤・買物のルートと地域周辺行動の関連

	全 部 含まれる	半分以上 含まれる	半分以上が 含まれる	含ま れない
勤 労 者 (主婦勤労者含む)	11.7	25.6	51.6	11.7
主 婦	8.3	30.6	33.3	27.8
就 学 者	6.1	21.1	36.4	36.4
合 計	9.3	25.6	42.6	22.5

小石川地区

全 部 含まれる	半分以上 含まれる	半分以上が 含まれる	含ま れない
21.4	14.3	42.9	21.4
13.6	40.9	27.3	18.2
21.4	21.4	21.4	35.8
18.0	28.0	30.0	24.0

本郷地区

一(5)一②本郷地区図2一(5)一③の様に示せる。又、2地区のバス停留所、国電・地下鉄の駅等を示すと図2一(5)一④、図2一(5)一⑤の様に示せる。又2地区について階層別に見ると小石川地区は各階層とも傾向は似ているが勤労者、主婦、就学者の順で①②比率が少ない。本郷地区は主婦は小石川地区と似た傾向を示し、勤労者、就学者が⑤、⑥の比率が高い。2地区の主婦の行動に似た傾向が見られるのは主婦の特徴とも考えられ、主婦は交通

機関を利用する買物の場合も地域の商店等のある方向の交通機関を利用するためと考えられる。その他の階層ではそのような行動がとられないため、地域の交通条件の相違により2地区が異なってくると考えられる。

(b) 地域周辺行動領域に含まれる交通機関を利用した
通勤、買物ルートの比率

地域周辺行動領域と交通機関を利用した通勤、買物ルートとの関連を見るために交通機関を利用した通勤、買物ルートが地域周辺行動領域に含まれる部分と含まれない部分の比率を見ると図2—(5)—⑥の様に示せ、地区を比較すると本郷地区は周辺行動に含まれるルートの比率が高い。これは2地区の交通条件と周辺行動に関連した施設の分布の状況によるもので、本郷地域は交通機関までのルートが小石川地区と異なり国電、地下鉄の駅が比較的近くにあり、非常に便利であるが、若干地区から離れており、かつ駅等の方向に商店等の施設が分布しないための小石川地区とそれほど差がない。逆に小石川地区は特に便利な交通機関がないが、比較的近くに商店街が分布し、その近辺にバスの停留所等があるため本郷地区とそれほど差がない状況になっているためと考えられる。

Ⅲ 生活行動における余暇活動からみた地域の
特性

前節までの分析において生活行動における地域周辺行動について分析したが、本節においては生活行動における学校教育を除いた学校活動、趣味娯楽の活動、スポー

ツ活動、レジャー活動を各地域の居住者がどのような傾向で、又どの程度行なっているかを分析し、調査地区の特性を抽出する。

活動の内容については大きく①学習的な活動、②趣味・娯楽的活動、③スポーツ活動、④レジャー活動に分類し、それらの更に細かい活動の種目を学習活動については種目、趣味・娯楽的活動については31種目、スポーツ活動種目、レジャー活動種目を考え(表3—(1)—①)これらの種目について、各地区の居住者が行っている種目の種類、活動型態、頻度、活動の内容の年度による変化、交通手段等を分析した結果を述べる。

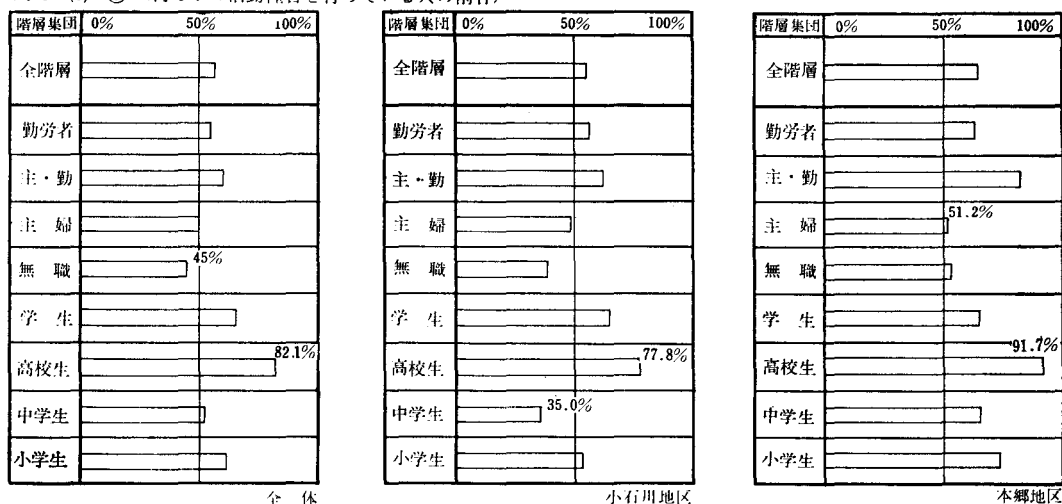
Ⅲ—1 余暇活動の状況から見た地域の比較

余暇活動について余暇活動を行っているかどうかを見ると2地区では平均6割弱の人達が何らかの余暇活動を行っている。又これを2地区で比較すると本郷地区が6割より若干多く、小石川地区が若干少ない。活動を行っている人の比率からは本郷地区の方が余暇活動が活発といえる。これを階層別に見ると地区では高校生が特に活動を行っている。次いで学生、小・中学生、主婦、勤労者、勤労者、中学生、主婦、無職の順で、主婦勤労者がいそがしい中を良く活動を行っているのが目立ち、他は学生、高校生等の活動がやはり多い。階層別に2地区を

表3—(1)—① 活 動 種 目

学 習 活 動		趣味・娯楽活動	スポーツ活動	レジャー活動
討 論	電 気 技 術	音 楽 鑑 賞	美 容 体 操	ハ イ キ ン グ
相 談	洋 裁	芝 居 鑑 賞	弓 道	山 登 り
待 合	和 裁	映 画 鑑 賞	体 操	海 水 浴
講 義	料 理	音 楽 演 奏	ス ケ ー ト	旅 行
講 演	華 道	民 謡 鑑 賞	水 泳	ド ラ イ ブ
読 書 会	茶 道	囲 碁・将 棋	ラ イ フ ル	河・海 釣 り
展 示 会	家 庭 医 学	マ ー ジ ャ ン	バ ト ミ ン ト ン	ゴ ル フ
見 学 会	デ ザ イ ン	ダ ン ス	柔 道	ボ ー リ ン グ
話 し 方	レ タ リ ン グ	パ ー テ ィ	剣 道	そ の 他
英 会 話	手 芸	釣 堀 り	卓 球	
珠 算	美 術	ス ポ ー ツ 観 戦	な ぎ な た	
毛 筆・習 字	演 劇	食 事	テ ニ ス	
ペ ン・習 字	そ の 他	喫 茶	バ ス ケ ッ ト	
簿 記		飲 酒	バ レ ー ボ ー ル	
膳 写 技 術		散 歩	サ ッ カ ー	
速 記 技 術		(シ ョ ッ ピ ン グ)	そ の 他	
映 写 技 術		そ の 他		
写 真 技 術				

図 3-(1)-① <何らかの活動種目を行っている人の割合>



比較すると、2地区で各階層の活動傾向は類似しており、本郷地区が各階層とも全般に高いが、本郷地区では高校生の9割以上が活動を行い、主婦勤労者の8割以上が活動を行っているのが目立つ。

以上の様な結果の中で本郷地区の活動が全般に活発なのは各種の要因が考えられるが、交通条件もかなり強い要素と考えられ、本郷地区は国電、地下鉄の駅が比較的近く便利なのに対して、小石川地区が若干交通が不便であることが影響していると考えられる。2地区の活動を行なっている者の比率を図に示すと図3-(1)-①の様に表示する。

Ⅲ-2 活動内容別にみた地域の比較

活動内容を①学習的な活動、②趣味・娯楽的活動、③スポーツ活動、④レジャー活動の4つに分類しどの様な活動が良く行なわれているかにより地区の比較を行う。

(図3-(2)-①) 小石川、本郷地区は趣味・娯楽的活動が若干少なく、スポーツ活動が若干多い。この様に2地区で見た限りでは地区で余り差はないと言えるが、2地区ともスポーツ活動を行っている者の比率が低いのが目立ち、スポーツ施設の不足やスポーツ活動を行う機会の不足が問題として推測できる。次に活動内容別、階層別に2地区の比較を行うと、2地区で共通して勤労者、主婦勤労者、主婦、無職の階層のスポーツ活動の行なわれている比率が少なく、これは他の調査等でも明らかにされている様に学校教育以後のスポーツ活動の機会の不足の結果と一致する。又同じく2地区で共通しているのは勤労者、主婦勤労者、主婦において勤労者は趣味娯楽的活動が行なわれている活動の中で半分程度を占め、主婦勤労者は趣味娯楽的活動が行なわれている活動の半分程度、学習活動が1/4程度を占めることである。主婦は趣

図-3-(2)-① 活動内容別にみた地域の比較

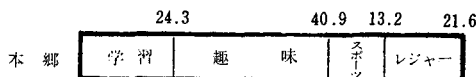
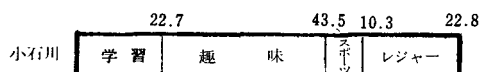


図-3-(2)-② 活動内容別・階層別にみた地域の比較



味娯楽的活動が1/3強、学習活動が1/3占め、これらは地区で比較的共通している。無職は2地区で異なり、本郷地区では学習活動、趣味娯楽的活動が共に1/3程度で、小石川地区では趣味娯楽的活動が半分程度である。又学生は本郷地区が学習活動と趣味娯楽的活動が1/3程度を占めるのに対して小石川地区は趣味娯楽活動の占める比率が高い。高校生は2地区とも類似しており、本郷地区では中学生は趣味娯楽的活動、スポーツ活動が本郷

表3—(2)—① 階層別、男女別活動種目の状況(学習)

(小石川地区)

階層 活動種目		全階層		階 層 別								男 女 別					
				勤 労 者		主婦 (勤)	主 婦	無職	学生	高校	中学	小学	男		女		
学	討 論 会	15	6.3	9	9.4	1	2	3.0		2			1	7	8.0	8	5.3
	相 談	⑩	7.9	⑭	14.9	1	3	4.5		1			⑩	11.4	9	5.9	
	待 合 せ	9	3.8	5	5.2		2	3.0			1	1		3	3.4	6	3.9
	講 議	7	2.9	4	4.2		2	3.0						4	4.5	3	2.0
	講 演	3	1.3	2	2.1		1	1.5						2	2.3	1	0.7
	読 書 会	6	2.5	3	3.1				2			1		4	4.5	2	1.3
	展 示 会	12	5.0	6	6.3		3	4.5	1	2				6	6.8	6	4.0
	見 学 会	13	5.4	5	5.2	1	3	4.5		2		1	1	6	6.8	7	4.6
	話 し 方	1	0.4	1	1.0									1	1.1		
	英 会 話	5	2.1	1	1.0					③	1			5	5.7		
習	珠 算	17	7.1	6	6.3		1	1.5			⑤		3	8	9.1	9	5.9
	毛筆・ 習字	9	3.8	3	3.1		1	1.5	1			②	④	2	2.3	7	4.6
	ペン習字	9	3.8	3	3.1	1	2	3.0	1		2			3	3.4	6	4.0
	簿 記	4	1.7	1	1.0						3					4	2.6
	謄写技術																
	速記技術																
	映写技術	3	1.3	2	2.1				1					3	3.4		
	写真技術	8	3.3	6	6.3				1	1				8	9.1		
	電気技術	4	1.7	3	3.1				1					4	4.5		
	洋 裁	12	5.0	3	3.1	1	7	10.4		1						12	8.0
動	和 裁	10	4.2	2	2.1		7	10.4	1							10	6.6
	料 理	18	7.5	1	1.0	2	⑬	19.4	1							⑮	11.8
	華 道	8	3.3	3	3.1	1	2	3.0	1							8	5.3
	茶 道	6	5.5	1	1.0	1	3	4.5		1						6	3.9
	家庭医学								1	1							
	デザイン	5	2.1	3	3.1	2								3	3.4	2	1.3
	レタ リング	1	0.4	1	1.0									1	1.1		
	手 芸	⑩	7.9	5	5.2	2	9	13.4	1		1		1	1	1.1	18	1.8
	美 術	5	2.1				2	3.0		1	1	1		3	3.4	2	1.3
	演 劇	7	2.9	2	2.1		2	3.0		1	2			3	3.4	4	2.6
そ の 他	5	2.1	1	1.0	1	2	3.0				1		1	1.1	4	2.6	
合 計		240		96		14	67		6	21	18	6	11	88		152	

(本郷地区)

階層 活動種目		全階層	階 層 別								男 女 別			
			勤 労 者	主婦 (勤)	主 婦	無職	学生	高校	中学	小学	男	女		
学	討 論 会	1 0.8	1 2.7								1 3.6			
	相 談	3 2.3	2 5.4					1			1 3.6	2 2.0		
	待 合 せ	1 0.8						1				1 1.0		
	講 義	4 3.1	1 2.7					2			1 3.6	3 2.9		
	講 演	5 3.8	2 5.4		1 3.2		1 1			3 10.7	2 2.0			
	読 書 会	11 8.5	4 10.8	1 1	3.2		③ 1			⑥ 21.4	5 4.9			
	展 示 会	5 3.8	1 2.7		1 3.2	1 1	2			1 3.6	4 3.9			
	見 学 会	4 3.1	2 5.4				1 1			3 10.7	1 1.0			
	話 し 方						1							
	英 会 話	8 6.2	1 2.7				1		③		3 10.7	5 4.9		
習	珠 算	1 0.8						③		1		1 1.0		
	毛筆・ 習字	8 6.2	3 8.7	1 1	3.2					③ 1	0.6	7 6.9		
	ペン習字	2 1.5				1 1						2 2.0		
	簿 記													
	謄写技術													
	速記技術	1 0.8	1 2.7									1 1.0		
	映写技術	1 0.8	1 2.7							1 3.6				
	写真技術	3 2.3	2 5.4						1	3 10.7				
	電気技術													
	動	洋 裁	⑬ 10.0	⑥ 16.2	2 4	12.9							⑬ 12.7	
和 裁		8 6.2		2 4	12.9	1 1	1					8 7.8		
料 理		7 5.4	3 8.1		2 6.5		2					7 6.9		
華 道		8 6.2	1 2.7		3 9.7	2 2						8 7.8		
茶 道		11 8.5	⑥ 16.2		3 9.7	1 1						11 10.8		
家庭医学		1 0.8			1 3.2							1 1.0		
デザイン		5 3.8	1 2.7	2 2	6.5					1 3.6	4 3.9			
レタ リング		2 1.5	1 2.7		1 3.2					1 3.6	1 1.0			
手 芸		10 7.7	1 2.7	1 ⑥	19.4	2						10 9.8		
美 術		5 3.8					1 ③			2 7.1	3 2.9			
活	演 劇	2 2.5				2				1 3.6	1 1.0			
	そ の 他	8 6.2		9 3	9.7	2		2	1	1 3.6	7 6.9			
	合 計	130	37	9	31	9	19	15	5	5	28	102		

表3—(2)—3 階層別・男女別活動種目の状況(趣味・娯楽)

(小石川地区)

階層 活動種目		全階層	階 層 別										男 女 別	
			勤労者	主婦 (勤)	主 婦	無職	学生	高校	中学	小学	男	女		
趣 味・娯 楽 活 動	音 楽 鑑 賞	39 8.4	19 7.1		10 11.2	2 3 6.5	3 9.6		1	1	20 7.3	19 8.6		
	芝 居 鑑 賞	35 7.5	16 6.0	4 13.3	12 13.5	1 1 2.2	1 3.2				12 4.4	22 9.9		
	映 画 鑑 賞	⑥ 14.3	32 12.0	4 13.3	10 11.2	④ ⑨ 19.6	⑦ 22.6		1		③ 12.4	33 4.9		
	音 楽 演 奏	10 2.1	6 2.2		1 1.1	3 6.5					7 2.5	3 1.4		
	民 謡 鑑 賞	13 2.8	5 1.9		6 6.7	1 1 2.2					6 2.2	7 3.2		
	将 棋・囲 碁	20 4.2	12 4.5		1 1.1	1 1 2.2	3 9.7		2		19 6.9	1 0.5		
	マ ー ジ ャ ン	28 6.0	21 7.9	1 3.3	1 1.1	4 8.7	1 3.2				23 8.4	5 2.3		
	ダ ン ス	6 1.3	4 1.5	1 3.3		1 2.2					3 1.1	3 1.4		
	パ ー テ ィ	13 2.8	7 2.6	1 3.3	1 1.1	1 2.2	3 9.7				8 2.9	5 2.3		
	釣 堀	11 2.4	7 2.6			1 2.2		1	②		11 4.0			
	ス ポ ー ツ 観 戦	35 7.5	25 9.4	2 6.7	2 2.2	2 2 4.3	1 3.2		1		27 9.8	8 3.6		
	食 事	55 11.8	27 10.1	3 10.0	14 5.7	2 5 10.9	3 9.7		1		26 9.5	29 13.1		
	喫 茶	41 8.9	20 7.5	2 6.7	8 9.0	1 5 10.9	4 12.9		1		19 6.9	22 9.9		
	飲 酒	44 9.4	⑤ 13.5	1 3.3	3 3.4	1 3 6.5					③ 12.4	10 4.5		
	散 歩	61 13.0	19 7.1	⑨ 30.0	⑤ 16.9	④ 6 13.0	5 16.1		2	1	17 6.2	④ 19.8		
	(シ ョ ッ ピ ン グ)	15 3.2	7 2.6	2 6.7	5 5.6	1					5 1.8	10 4.5		
	そ の 他	4 0.9	4 1.5								4			
合 計		467	267	30	89	20	46	31	9	5	275	222		

表3—(2)—④ 階層別・男女別活動種目の状況(趣味・娯楽)

(本郷地区)

階層 活動種目		全階層	階 層 別										男 女 別				
			勤 労 者		主婦 (勤)	主 婦	無職	学生	高校	中学	小学	男	女				
趣 味・ 娯 楽 活 動	音 楽 鑑 賞	24	11.0	8	8.6	1	4	10.5	2	2	④	2	1	9	8.7	15	13.0
	芝 居 鑑 賞	21	9.6	7	7.5	④	5	13.2	2	1	2			5	4.8	16	13.9
	映 画 鑑 賞	②	12.8	10	10.8	3	4	10.5	1	2	④	③	1	9	8.7	⑩	16.5
	音 楽 演 奏	7	3.2						1	1	3	1	1	3	2.9	4	3.5
	民 謡 鑑 賞	4	1.8	3	3.2		1	2.6						3	2.9	1	0.8
	将 棋 囲 碁	10	4.6	5	5.4				1	2		1	1	10	9.6		
	マ ー ジ ャ ン	10	4.6	7	7.5	1	1	2.6	1					7	6.7	3	2.6
	ダ ン ス	6	2.7	2	2.2		2	7.4	1					1	1.0	5	4.3
	パ ー テ ィ	3	1.4				3	5.3	1							3	2.6
	釣 堀	7	3.2	4	4.3								③	7	6.7		
	ス ポ ー ツ 観 戦	17	3.2	8	8.6	1	1	2.6	1	1	3	1	1	11	10.6	6	5.2
	食 事	21	9.6	8	8.6	2	5	13.2	1	2	1	1	1	9	8.7	12	10.4
	喫 茶	14	6.4	8	8.6	1	2	5.3		2	1			7	6.7	7	6.0
	飲 酒	7	7.8	⑮	16.1	1	1	2.6						⑮	12.5	4	3.5
	散 歩	24	11.0	6	6.5	1	⑨	23.7	2	2	3	1		7	6.7	17	14.8
	(シ ョ ッ ピ ン グ)	6	2.7	2	2.2	2			1	1				3	2.9	3	2.6
	そ の 他																
合 計		219	93	17	38	10	18	24	10	9			104	115			

表3—(2)—⑤ 階層別・男女別活動種目の状況（スポーツ）

（小石川地区）

階層 活動種目		階 層 別									男 女 別	
		全階層	勤 労 者	主婦 (勤)	主 婦	無職	学生	高校	中学	小学	男	女
ス ポ ー ツ 活 動	美 容 体 操	2 1.8			1			1				2 4.4
	弓 道	8 7.3	3 10.0		1		1		1	2	4 6.3	4 8.9
	体 操	13 11.9	4 13.3	1	1		3	1	2	1	4 6.3	9 20.0
	ス ケ ー ト	③ 30.3	⑬ 43.3	②	③	1	⑥	2	2	④	② 31.3	13 28.9
	水 泳	1 0.9	1 3.3								1 1.6	
	ラ イ フ ル	5 4.6					2		2	1	2 3.1	6.7
	バ ト ミ ン ト ン	3 2.8	1 3.3					2			3 4.7	3
	柔 剣 道	10 9.2	3 10.0	1			3	2	1		5 7.8	5 11.1
	卓 球	4 3.7	2 6.7				1		1		3 4.7	1 2.2
	な ぎ な た	5 4.6					2		③	1	4 6.3	1 2.2
	バ ス ケ ッ ト	5 4.6					2	1	1		5 7.8	
	バ レ ー ボ ー ル	20 18.3	13 43.3		1	1	3	2			13 20.3	7 15.6
合 計		109	30	4	7	2	23	11	13	9	64	45

表3—3—(2)—⑥ 階層別・男女別活動種目の状況（スポーツ）

（本郷地区）

階層 活動種目		全 階 層									男 女 別	
		階層別	勤 労 者	主婦 (勤)	主 婦	無職	学生	高校	中学	小学	男	女
ス ポ ー ツ 活 動	美 容 体 操	4 5.6	1		2		1					4 1.25
	弓 道	1 1.4	1									1 3.1
	体 操	4 5.6	1				1	1		1	3 7.7	1 3.1
	ス ケ ー ト	9 12.7	2		2		2	2		1	5 12.8	4 12.5
	水 泳	② 29.6	⑥	④		③	③		2	③	11 28.2	⑩ 31.3
	ラ イ フ ル	1 1.4	1								1 2.6	
	バ ト ミ ン ト ン	4 1 5.6					1	2	1		1 2.6	3 9.4
	柔 剣 道	1 1.4						1			1 2.6	
	卓 球											
	な ぎ な た											
	バ ス ケ ッ ト	6 8.5	1				1		③	1	4 10.3	2 6.3
	バ レ ー ボ ー ル	3 4.2					1		1	1	1 2.6	2 6.3
	サ ッ カ ー	2 2.8	1							1	2 5.1	
そ の 他		15 21.1	5			1	1	③	2	③	⑩ 25.6	5 15.6
合 計		71	19		8	1	11	12	9	11	39	32

表 3—(2)—⑦ 階層別・男女別活動種目の状況（レジャー） (小石川地区)

階 層 活動種目		全階層	階 層 別										男 女 別				
			勤 労 者		主婦 (勤)	主 婦	無職	学生	高校	中学	小学	男	女				
レ ジ ャ ー	ハイキング	18	7.5	6	4.6		2	5.6	1	4	1	1	3	10	6.8	8	8.4
	山登り	21	8.7	11	8.5		2	5.6	③	3		②		15	10.3	6	6.3
	海水浴	47	19.5	25	19.2	3	6	16.7	1	5	③	②	2	28	19.2	19	20.0
	旅行	⑦⑨	32.4	③⑨	30.0	⑦	⑩	44.4	1	⑥	2	1	④	③⑦	25.3	④①	43.2
	ドライブ	41	17.0	22	16.9	2	8	22.2		5	1	1	1	25	17.1	16	46.8
	河・海釣り	17	7.1	11	8.5		1	2.8		1	1	1	1	15	10.3	2	2.1
	ゴルフ	11	4.6	9	6.9		1	2.8		1				10	6.8	1	1.1
	ボーリング	7	2.9	7	5.4									6	4.1	1	1.1
	その他の	1	0.4								1					1	1.1
合 計		241		130		12	36		10	5	9	8	11	141		95	

表 3—(2)—⑧ 階層別・男女別活動種目の状況（レジャー） (本郷地区)

階 層 活動種目		全階層		階 層 別								男 女 別											
				勤 労 者		主婦 (勤)		主 婦		無職		学生		高校		中学		小学		男		女	
レ ジ ャ ー	ハイキング	10	18.6	5	8.5			2	11.8			2	1					4	7.3	6	9.8		
	山登り	4	3.4	2	3.4			1	5.9			1						3	5.5	1	1.6		
	海水浴	17	14.6	7	11.9			4	23.5	1		2	2		1			8	14.5	9	14.8		
	旅行	④⑤	38.8	②②	37.3	⑥		6	35.2	⑤		1	2	1	②			⑩	19.1	②⑨	47.5		
	ドライブ	21	18.1	11	18.6	2		3	17.6	1		2		1	1			9	16.4	12	19.8		
	河・海釣り	10	8.6	6	10.2			1	5.7				2	1				8	14.5	2	3.3		
	ゴルフ	2	1.7	2	3.4													2	13.6				
	ボーリング	7	6.0	4	6.8							2	1					5	9.1	2	3.3		
	その他																						
合 計		116		58		8	17		7	8	9	4	4	55		61							

1/3 程度を占め、一方小石川地区ではスポーツ活動が 1/3 で、ペレジャー活動が本郷地区にくらべ若干多い。又小学生は本郷地区で趣味娯楽活動が共に 1/3 程度を占めるのに対して、小石川地区は学習活動、レジャー活動が共に 1/3 程度を占め、かなり異なっている。以上の様に 2 地区では活動内容がかなり似ている階層と異なる階層とがあり、勤労者、主婦勤労者、主婦等の成人階層と受験等で忙がしい高校生等は地区で似ており、学生、中学生、小学生等比較的時間等が自由な階層の活動の内容は地区によって異なっている。(図 3—(2)—②)

次に学習活動、趣味・娯楽活動、スポーツ活動、レジャー活動の中でどの様な種目が好まれているかで 2 地区について比較する。(表 3—(2)—①、表 3—(2)—②) 小石川地区は討論会、相談、珠算、料理、手芸等の活動が比較的行なわれており、本郷地区は読書会、英会話、毛筆習字、洋裁、和裁、華道、茶道、手芸等がおこなわ

れている。本郷地区が若干教育的活動が目立ち、小石川地区が教養的活動が目立つ。次に趣味・娯楽活動についてみると小石川地区、本郷地区とも音楽鑑賞、芝居鑑賞、映画鑑賞、食事、喫茶、飲酒、散歩等の活動が比較的多く行なわれており、小石川地区ではこれと更にマージャン、スポーツ観戦の多さが目立つ。これらを表で示すと表 3—(2)—③、表 3—(2)—④の様に示せる。スポーツ活動については表 3—(2)—⑤、表 3—(2)—⑥の様に本郷、小石川地区でも体操、スケート、水泳、バスケットが共通に多く行なわれており、行なわれているスポーツ活動の約 1/3 を占め、これは比較的近くの文京区体育館に室内プールがあるためで、この様に付辺にこの様な設備の整った施設があると非常によく地域に利用される一例と言えよう。又、小石川地区においては卓球が比較的良好に行なわれ、本郷地区においてはバスケットが比較的良好に行なわれている。レジャー活動について表 3—(2)—

⑦、表3—(2)—⑧をみると2地区とも比較的共通しており、海水浴、旅行、ドライブの比率が高く、特に旅行は3～4割を占め共通してレジャー活動の中心となっている。

次いで男女の活動の内容により2地区を比較すると、学習活動では男子は写真技術、見学会が2地区に共通して比率が高く、小石川地区では他に討論会、相談、展示会、珠算等の活動が多く、本郷地区では講演、読書会、英会話、美術等の比率が高く、かなり2地区で相違が見られる。女子は2地区で共通して洋裁、和裁、料理の比率が高いが、本郷地区では他に華道、茶道、手芸等が良く行なわれ、これらは女性が一般に良く行なう種目であるが、小石川地区では華道、手芸等の比率は余り高くなく、討論会、相談、珠算等が比較的良く行なわれ、地域の相違が出ている。趣味・娯楽的活動では男子は2地区ともほとんど似た活動の傾向を示し、女子も2地区とも似た活動の傾向を示している。男女の差では男子は囲碁、将棋、マージャン、食事、飲酒等の活動が女子と異なり多いのに対して、女子は芝居鑑賞が多く、又男子も比較的行なっている散歩が女子において特に多いようである。スポーツ活動については男子は体操、スケート、水泳等、サッカー等は地区とも共通して比較的良く行われており、他に小石川地区において卓球、バレーボールが行なわれ、本郷地区では小石川地区でも行なわれているがスケートの比率が若干高いのが目立つ。女子は2地区とも共通してスケート、水泳、バトミントンが比較的良く行なわれ、他に小石川地区では体操が、本郷地区では美容体操、バスケット、バレーが目立つ。レジャー活動については男子はハイキング、海水浴、旅行、ドライブ、河・海釣りが共通して多く、他に小石川地区では山登り、本郷地区ではボーリングが良く行なわれている。女子ではハイキング、海水浴、旅行、ドライブが2地区に共通して多く、他に小石川地区では山登りが目立つ。この様にレジャー活動では比較的男女とも共通しているが、男女の相違より若干地域の相違が強い。

Ⅲ—3 活動型タイプから見た地域の比較

活動については大きく①学習活動、②趣味・娯楽的活動、③スポーツ活動、④レジャー活動の4種類に分けたわけであるが、これらの4種目を各個人個人がどの様に巾広く活動しているかを見るために、上記種類の活動のそれぞれの組合せを表3—(3)—①の様に考え、Aは4種目全てを活動しているもの、Bは4種目のうちいずれか3種目を活動しているもの、Cは4種目のうちいずれか2種目を活動しているもの、Dは4種目のうちいずれか1種目を活動しているものにタイプ分けし、それらのどのタイプで活動する場合が最も多いか等を見る。2地区の平均ではC、Dの2種目、1種目を活動する比率が多く、共に約3割で、次いでB、Aの順である。又さらに細かく見ると、2種目で趣味・娯楽的活動とレジャー活動を行なう人が多く、1.5割、次いで趣味・娯楽的活動1種目のみ行なう人が1.3割、次いで学習活動、趣味・娯楽的活動、レジャー活動を行なう人が1.2割、学習活動のみの人が1.1割の順で、又4種目全てを活動している人も1割いるのは注目に値しよう。

階層別にこれを見ると学生階層に種目全てに活動している人が多く、4割弱を占めるのは注目に値しよう。これらを図に示すと図3—(3)—①～②の様に示せる。

2地区について活動のタイプを見てみると、小石川地区はCタイプが最も多く、次いでDタイプ、Bタイプがほぼ同比率、Aタイプの順で、本郷地区はDタイプが最も多く、Cタイプ、Bタイプ、Aタイプの順である。この種目数からいくと小石川地区が若干多様な活動の傾向を持っていると言える。又更に細かく見ると小石川地区では趣味・娯楽的活動レジャー活動の2種目を行っている人が最も多く、次いで趣味・娯楽的活動の1種目の人、学習活動、趣味・娯楽的活動、レジャー活動の3種目の人の順で、本郷地区では学習活動1種目を行っている人が最も多く、次いで4種目全部を活動している人、趣味・娯楽的活動とレジャー活動2種目の人の順で、2地区で相違が見られる。

表3—(3)—① 活動型タイプ分類表

活動型 タイプ 活動種目	A	B				C						D			
		B1	B2	B3	B4	C1	C2	C3	C4	C5	C6	D1	D2	D3	D4
学 習 活 動	○	○	○	○		○	○	○				○			
趣味・娯楽活動	○	○	○		○	○			○	○			○		
ス ポ ー ツ 活 動	○	○		○	○		○		○		○			○	
レ ジャ ー 活 動	○		○	○	○			○		○	○				○

図-3-(3)-① 階層別活動型タイプ

全階層		A	B	C	D
階層別	勤労者	1	2	4	1
	主・勤		2	4	5
	主婦	1	2	4	1
	無職者	1	2	4	1
	学生			1	4
	高校生	1	2	4	1
	中学生		1	2	4
	小学生	2	3	4	1

図-3-(3)-② 小石川地区

全階層		A	B	C	D
階層別	勤労者	1	2	4	1
	主・勤		2	4	5
	主婦	1	2	4	1
	無職者	1	2	4	1
	学生			1	4
	高校生	1	2	4	1
	中学生		1	2	4
	小学生	2	3	4	1

図-3-(3)-③ 本郷地区

全階層		A	B	C	D
階層別	勤労者	1	2	4	1
	主・勤		2	4	5
	主婦	1	2	4	1
	無職者	1	2	4	1
	学生			1	4
	高校生	1	2	4	1
	中学生		1	2	4
	小学生	2	3	4	1

階層別に2地区を見ると、勤労者では小石川地区はCタイプに4割が集中し、本郷地区では小石川地区ほど明確な活動タイプへの集中は見られない。主婦勤労者では本郷地区のAタイプへの集中が目立ち、小石川地区では

活動タイプの集中はあまり見られない。主婦では小石川地区でDタイプが、本郷地区ではCタイプがそれぞれ多くなっている。無職では小石川地区がBタイプ、本郷地区がDタイプが多い。学生では小石川地区にAタイプの人が約4割、本郷地区ではCタイプが5割で活動タイプへの集中が目立ち、小石川地区の学生の活動種目数から見た活発さが目立つ。高校生では小石川地区がCタイプ、本郷地区にはDタイプが多い。中学生は小石川地区Dタイプ、本郷地区がBタイプで、活動の種目数から見た本郷地区の活発が見られ、小学生は小石川地区、本郷地区のDタイプへの集中が目立ち、特に本郷地区で集中している。以上の様に地区別に見た各階層別の活動の仕方でも地区では相違していると言えよう。

Ⅲ-4 年令階層別と活動内容

図3-(4)-①、②は小石川、本郷地区をそれぞれの余暇活動を年令別に集計しその比率を求めたものである。各年令層を通じて、趣味・娯楽活動が最も高く、学習活動が次に高いが、20代と50代ではレジャー活動が次に高い。50才代は社会的に安定した年令階層であることが、又20才代は、家庭的、社会的にも最も自由に余暇時間を使える立場にいたることがその原因と考えられる。活動の最も低いスポーツ活動については、年代が高くなるにつれて比率が下がる傾向が見られる。これは肉体的なおとろえが原因と考えられるが、成人を対象とするスポーツ施設が少ないことも一要因である。成人のスポーツ施設は今後の施設計画上一つの課題と云える。次に両地区の違いをみると小石川地区が、ほぼ全年令階層を通じて趣味・娯楽活動の比率が高い。小石川地区で趣味・娯楽活動が最も多い階層は60才以上の7割弱であり、一方本郷は、40才代が最も高く、60才以上の階層では、レジャー活動にもかなり高い比率が見られる。これは両地区の所得階層の違いがあらわれていると云えよう。次に年令階層別活動種目の内容をみると表3-4-①～④(但し学習、スポーツ活動は例数が少なく、バラツキも多いので省略)、趣味・娯楽活動、レジャー活動とも、年令によ

表3-(4)-① 年令別活動種目(上位2種目) (小石川地区)

年 代	趣 味・娯 楽 活 動		レ ジ ャ ー 活 動	
20 代	① 映 画	② 飲 酒	① 旅 行	② 海 水 浴
30 代	① 食 事	② 散 歩	① 旅 行	② 海 水 浴
40 代	① 散 歩	② スポーツ観戦 食 事	① 旅 行	② ドライブ
50 代	① 映 画	② 芝 居	① 旅 行	② ドライブ
60代以上	① 芝 居	② 食 事	① 旅 行	

表 3-1(4)-② 年令別活動種目（上位2種目）（本郷地区）

年 代	趣味・娯楽活動	レジャー活動
20 代	① 音楽鑑賞 ② 食事・飲酒	① 旅行 ② 海水浴
30 代	① 食事 ② スポーツ観戦	① 旅行 ② フライフ
40 代	① 映画 ② 散歩	① 旅行 ② フライフ
50 代	① 芝居・飲酒 ② 散歩	① 旅行 ② ボーリング
60代以上	① 芝居 ② 散歩	① 旅行

図 3-1(4)-① 年令別階層と活動内容（数字は％）

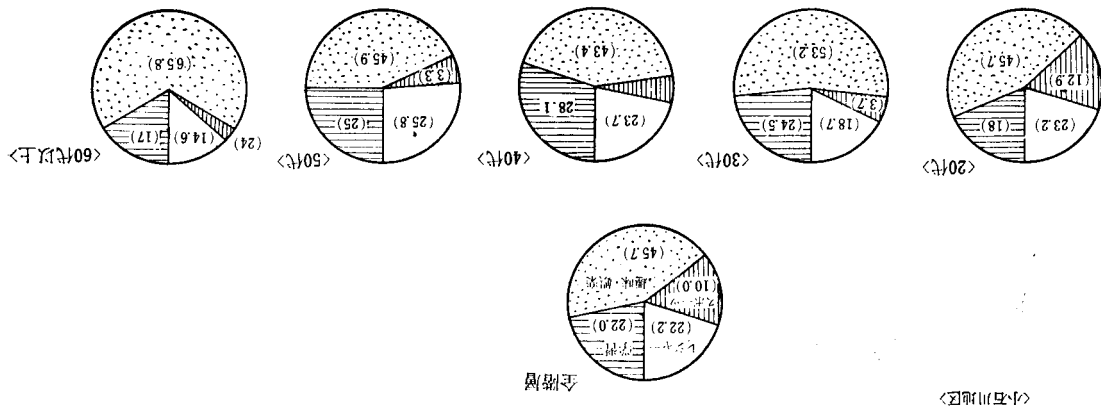
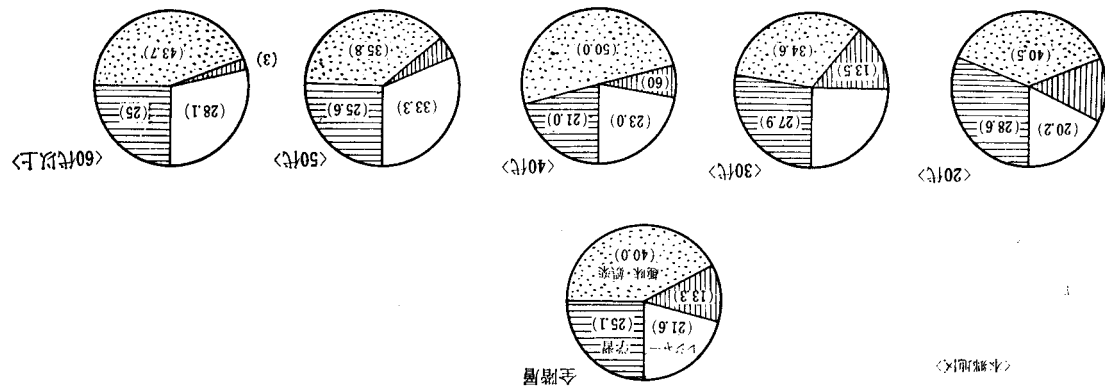


図 3-1(4)-② 年令別階層と活動内容（数字は％）



る違いはほとんどなく、各年代とも同じような活動種目となっている。又小石川、本郷地区の地域差も見られな
い。このことは、余暇活動のなかで、趣味・娯楽活動、
レジャー活動種目内容には、年令による差、あるいは地
域による相違がなく、すべての人に共通の活動種目とな

っていることをあらわしている。特に両地区全年令階層
を通じて、旅行がレジャー活動の中で最も多く（4割程
度）なっていることは注目に値する。

表3—(4)—③ 年令別階層と活動種目

(小石川地区)

年令			70以上	60～69	55～59	50～55	40～49	30～39	23～29	19～22	16～18	13～15	7～12
種目	学	習	活	動	合	計	合	計	合	計	合	計	合
討	論	会				4	3	3	3	2			
相	合	談				4	4	4	④	3			
待		せ				1		1	2	3	1	1	
講		義		1		⑤				1			
講		演				1		1	1				
読	書	会					1	2	1	2			
展	示	会					4	2	2	2			
見	学	会					4	3	2	2		1	
話	し	方						1					
英	珠	算		1						3	1		
毛	筆	字					1	1	2	3	③	②	⑤
ペ	習	字				2	2	2	1	1			4
簿	写	記						3		2	③		
速	映	術		1			1			1			
映	写	術		1			3	2		1	1		
電	真	術					1	1	⑤	1		1	
洋		裁				1	1	⑤	2	3			
和		理			②	3	3	2	1	1			
料		道			1		1	⑤	2	2			
華		道					2	1	3	3			
茶	庭	学		1				1	1			1	
家	ザ	ン					2	1	2				
デ	タ	グ					1						
レ		芸				1	⑥	4	④	2	1		1
手		術					1			1	1		1
美		劇				1	1		1	2	2		
演	の	他				1	2					1	
そ													
合	計			5	4	27	44	45	35	42	14	7	11

レ ジ ャ ー	ハイキング	山登り	海水浴	旅行	ドライブ	河・海釣り	ゴルフ	ボウリング	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
------------------	-------	-----	-----	----	------	-------	-----	-------	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

種 目		年 令																	
		70以上	60～69	56～59		50～55		40～49		30～39		23～29		19～22		16～18		13～15	7～12
趣 味 ・ 娯 楽 活 動	音 楽 鑑 賞		2	2	2	4.4	5	7.5	7	7.0	7	3.5	9	7.9	3	11.1		1	1
	芝 居 鑑 賞		⑤	2	5	11.1	5	7.5	7	7.0	6	7.3	4	43.5	1	3.7			
	映 画 鑑 賞		2	1	⑩	22.2	3	4.5	10	10.0	⑫	14.6	⑯	17.6	⑥	22.2		2	
	音 楽 演 奏				1	2.2			3	3.0	3	3.6	3	2.6					
	民 謡 鑑 賞		2		3	6.6	2	3.0	3	3.0	1	1.2	1	8					
	囲 碁 将 棋			1		4	6.0	7	7.0	2	2.4	1	8	2	7.4		2		1
	マ ー ジ ャ		1	1	2	4.4	5	7.5	5	5.0	8	9.7	5	4.4	1	3.7			
	ダ ン ス					1	1.5	1	1.0			4	3.5						
	パ ー テ ィ					3	4.5	1	1.0	2	2.4	4	3.5	3	11.1				
	釣 堀				1	2.2	3	4.5	1	1.0	2	2.4	1	8					③
ス ポ ー ツ 観 戦	1	2	1	3	6.6	7	10.6	7	7.0	4	4.8	8	7.0	1	3.7			1	
食 事		3	2	3	6.6	7	10.6	⑫	12.0	9	10.9	13	11.5	3	11.1			1	
喫 茶		1		1	2.2	4	6.0	10	10.0	7	8.5	12	10.6	3	11.1		1	1	
飲 酒		2	1	5	11.1	3	4.5	⑫	12.0	10	12.1	10	8.8			1			
散 歩	1	2	1	5	11.1	⑧	12.1	11	11.0	8	9.7	16	14.1	4	14.8		2	1	
(ショッピング)		2		3	6.6	4	6.0	2	2.0	1	1.2	2	1.7						
そ の 他		1				2	6.0	1	1.0										
合 計		人 2	人 25	人 12	人 45	% 100.0	人 66	% 100.0	人 100	% 100.0	人 82	% 100.0	人 113	% 100.0	人 27	人 100.0	人 9	人 9	

スポーツ活動	美弓	容	体	操		1										1			
	ス体			操		2	1				2	5.2						3	20.0
	スケ	ー	ト							2	1	5.8	6	15.7			2	2	13.3
	水			泳			③	③	⑦	41.1	⑩	26.3			2		2	④	26.6
	ラ	イ	フ	ル		1													
	バ	ト	ミ	ン	ト								2	5.2			1		2
	柔			道												2			
	剣			道					1										
	卓			球			1			2	11.6	4	10.5			1	1	1	6.6
	な	ぎ	な	た															
	バ	ス	ケ	ッ	ト								3	7.8					
	バ	レ	ー	ボ	ー								2	5.2			1	1	6.6
サ	ッ	カ	ー									2	5.2		1	2	1	6.6	
そ	の	他				1		1		1	7	41.1	7	18.4		2	1	1	6.6
合 計						1		1	3	6	人 7	% 17	人 100.0	% 38	人 100.0	% 100.0	人 9	人 10	人 15

表3—(4)—④ 年令階層別活動種目

(本郷地区)

種目	年令	70以上	60～69	56～59	50～55	40～49	30～39	23～29	19～22	16～18	13～15	7～12
学	討論					1						
習	合					1		1	1			
活	義演						1	1	1	1		
動	書示		②		1	1	1		③	②		
	学		1	1		1	1	1	1	1		
	英					1			1			1
	珠						2	2			④	②
	毛	1				1		1	1			
	簿											
	速								1			
	映					1						
	写					2						
	電									1		
	洋		1	1		1	⑥	2	1		1	
	和				1	1	3		1	1		
	料				1		1	1	2		1	
	華				②		2	2	3			
	茶					2	2	3	2			
	庭			1			1					
	ザ		1			2	2					
	レ		1			1						
	手					1	4	④				
	美								2	1	1	1
	演								2			
	そ		1		1	2	1		1		1	
合 計		1	7	3	7	21	29	19	23	9	8	5

レ	ハ	イ	キ	ン	グ		1	2	8.6	2	8.0	2	10.0	1	9.0		1		
ジ	山	登	水	浴	行		1	1	13.0	5	4.0	1	5.0	1	9.0				
ャ	海	水		行	行	2	④	⑨	38.1	⑧	32.0	⑦	35.0	1	18.0	1	1	1	1
ー	旅	イ		ブ	リ	1		5	21.7	6	24.0	3	15.0	2	18.0				2
	ド	海	釣	リ	フ	2	1	1	4.3	2	8.0	1	5.0	2	18.0				2
	河	ル		グ	他	1		2	4.3	1	4.0	1	5.0	1	9.0		1		
	ゴ	の						2	8.6			1	5.0	1	9.0				
	ボ																		
	そ																		
合 計						2	人	%	4	人	%	人	%	人	%	6	3	5	
						7	100.0		10	23	100.0	25	100.0	20	100.0	11	100.0		

Ⅲ-5 活動種目の年度による変化

余暇活動において、活動種目の選び方に変化がおこるのは、年齢の差、男女の差、その他さまざまな社会的条件によって変わってくると考えられる。この項では回答者の今年の活動種目が、昨年以前（3年間）のそれといかに変化したか、それが男女別、地域別に見るとどういう傾向にあるのかを考える。図3-5-①で見られるように、活動種目が昨年以前と今年で全部違った種目に変

化した人が全体で6割強もあり、余暇活動種目に変化がないと答えた人が1割程度で大部分は、昨年以前と違った活動を行っている。これを地区別に見ると、小石川地区で全部変化した人が7割弱で本郷地区よりも活動種目に変化のある人が多い。さらにまったく活動種目に変化がない人の割合を見ても本郷地区の方が小石川地区よりも多い。本郷地区にはいつも同じ活動種目を活動する人が多く、小石川地区との地域差が見られる。これを男女別にみると、全体に女性の方が変化する人が多く、（図

図3-5)-① 活動種目の年度による変化

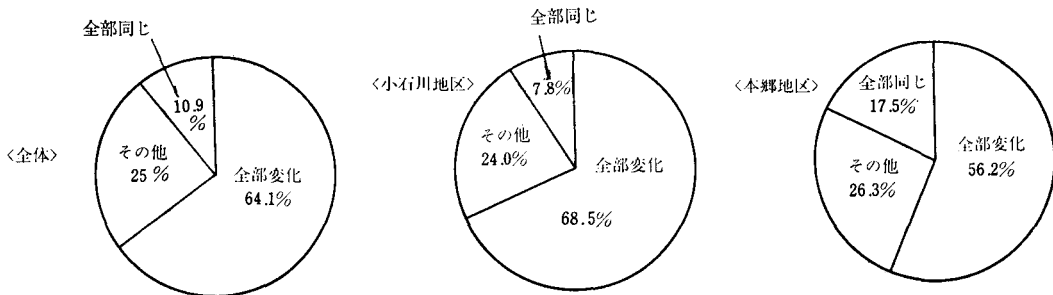


図3-5)-② 男女別地区別活動種目の年度による変化

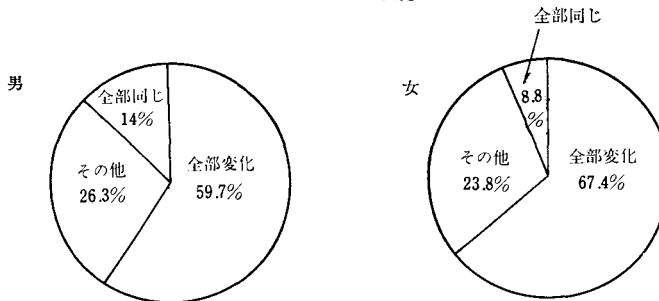
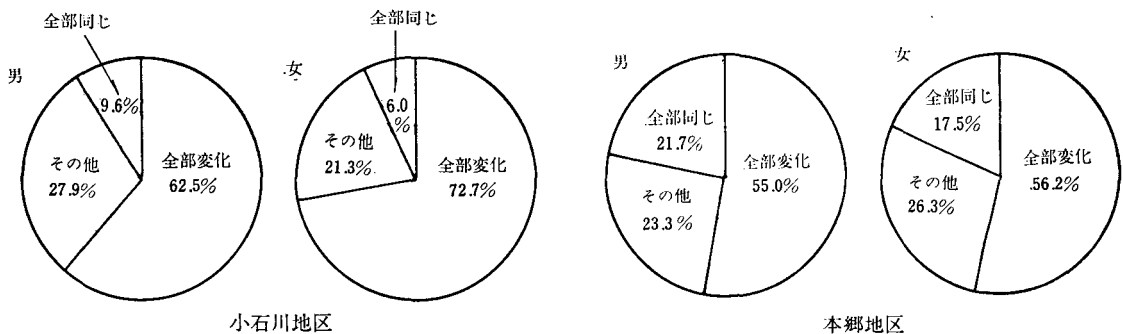


図3-5)-③ 男女別地区別活動種目の年度による変化



3—(5)—② それは又余暇活動がまったく変化しない人の割合においても男性よりも女性の方が少なく、両地区とも女性の方が変化の度合いが多い。これは女性の方が、男性よりも社会的、年令的、家庭的な要素に影響されやすいためであろう。同地区内での男性差に比らべて、地域別による相違の方が大きい。(図3—(5)—③)これは余暇活動における活動種目の変化は男女別による違いよりもむしろ地域的な違いによる傾向が大きいといえよう。

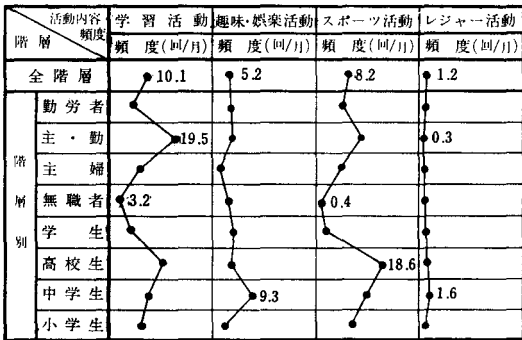
Ⅲ—6 活動頻度

図3—(6)—①は、これまで調べてきた活動種目にその頻度を加えて階層別に表わしたものである。活動者全員の1種目あたり活動者1人平均頻度をみると、小石川地区が6.2回/月、本郷地区7.5回/月であり、本郷地区の方が、頻度多く活動していることが云える。さらに前項(3)、(4)で考察した結果から、本郷地区の方が小石川地区よりも、ある程度固定した活動種目を頻度高く活動する傾向にあると云える。次に活動種類(学習、趣味・娯楽、スポーツ、レジャー活動)の中で、最も頻度が高いものは小石川地区で学習活動の10.1回/月で、スポーツ

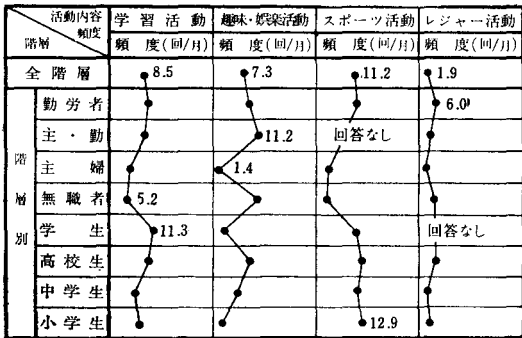
活動がこれに続く、本郷地区では、スポーツ活動(11.2回/月)、学習活動の順で両地区とも学習、スポーツ活動が高い。活動者数では高い割合を占めた趣味・娯楽活動、レジャー活動が活動頻度でみれば低い。これは、学習、スポーツ活動に比して一時的、偶然的な活動形態が多いためであろう。

階層別にみると、勤労者階層では両地区とも全活動領域にはほぼ同じ頻度で活動している。主婦・勤労者は、すべての活動種類において主婦のそれよりも高く、両地区とも活発に活動している。又、活動種類で主婦・勤労者の活動頻度の高いものは、小石川地区が学習活動、スポーツ活動、本郷地区が趣味・娯楽活動で地域の相違がある。これは両地区の交通利便の相異からくるものと思われる。主婦階層では、両地区とも全般に活動頻度が低い。無職階層では両地区とも主婦同様活動頻度がやや高いのは、地理的に盛り場(後楽園付近)へ近いということも原因すると思われる。学生階層では、前項(1)ですでに活動領域の広さを述べたが、活動頻度では、主婦階層と同程度で低く、学生の余暇活動は広くても浅い傾向と云える。高校、中学、小学生階層では両地区ともスポーツ活動種目数と見合って非常に活発に活動している。

図3—(6)—① 活動頻度別活動種目



小石川地区



本郷地区